


# 困ったときは

- [テクニカルサポート](#)
- [ご注文に関する問題](#)
- [製品情報](#)
- [保証期間中の修理と返品について](#)
- [お問い合わせになる前に](#)
- [デルへのお問い合わせ](#)

## テクニカルサポート

技術上の問題のサポートを受けなければならないときは、いつでもデルにお問い合わせください。

 **警告:** コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから取り外します。

- 「[問題の解決](#)」の手順を完了します。
- [Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)を実行します。
- [Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)を印刷して、それに記入します。
- インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポート ([support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com)) をご覧ください。
- これまでの手順で問題が解決されない場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせください。

**メモ:** デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をかけてください。テクニカルサポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

**メモ:** デルのエクスプレスサービスコードシステムをご利用できない国もあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコード (8 桁から 11 桁までの全桁数字のみの番号) は、コンピュータの正面、背面、または側面に貼られているシールに、サービスタグナンバー (5 桁もしくは 7 桁までの英数字混合の番号) と共に、記載されています (コンピュータの正面パネルに内に貼られている機種もあります)。

テクニカルサポートサービスにお問い合わせになるときは、「[テクニカルサポートサービス](#)」を参照してください。

**メモ:** これらのサービスは必ずしもアメリカ本土以外でご利用できるとは限りません。サービスに関する情報は、お近くのデル担当者へお問い合わせください。

## オンラインサービス

デルサポートへは、[support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) でアクセスすることができます。サポートサイトへようこそ のページから、サポートツール、情報などお選びください。

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- World Wide Web

[www.dell.com/jp](http://www.dell.com/jp) (日本)

[www.dell.com](http://www.dell.com) (北米)

[www.dell.com/ap/](http://www.dell.com/ap/) (アジア / 太平洋諸国)

[www.euro.dell.com](http://www.euro.dell.com) (ヨーロッパ)

[www.dell.com/la/](http://www.dell.com/la/) (ラテンアメリカ諸国)

[www.dell.com.ca](http://www.dell.com.ca) (カナダ)

## 24 時間納期案内電話サービス

注文した Dell™ 製品の状況を確認するには、[support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) をご覧いただくか、または、24 時間納期案内電話サービスをご利用いただけます。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。電話番号については、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

## テクニカルサポートサービス

デル製品に関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

テクニカルサポートにお問い合わせになる場合、まず「[テクニカルサポート](#)」を参照してから、「[デルへのお問い合わせ](#)」に記載されているお住まいの地域の番号にご連絡ください。

---

## ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。ファックス情報サービスの電話番号については、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

---

## 製品情報

デルが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご注文になりたい場合は、デルウェブサイト [www.dell.com/jp](http://www.dell.com/jp) をご覧ください。電話で販売担当者とお話をされたいときは、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

---

## 保証期間中の修理と返品について


コンピュータに付属している冊子をご覧ください。

---

## お問い合わせになる前に

メモ：お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがおわかりになると、デルで自動電話サポートシステムをお受けになる場合に、より効率が良いサポートが受けられます。

必ず [Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#) に記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をかけてください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

 **警告:** コンピュータ内部での作業をする前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

<b>Diagnostics (診断) チェックリスト</b>
名前：
日付：
住所：
電話番号：
サービスタグ (コンピュータ背面のバーコード)：
エクスプレスサービスコード：
返品番号 (デルサポート担当者から提供された場合)：
オペレーティングシステムとバージョン：
周辺機器：
拡張カード：
ネットワークに接続されていますか? はい いいえ
ネットワーク、バージョン、およびネットワークアダプタ：
プログラムとバージョン：
システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してから デルにお問い合わせください。
エラーメッセージ、ビープコード、または診断コード：
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

## デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- [www.dell.com/jp](http://www.dell.com/jp)
- [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) (テクニカルサポート)

お客様の国の具体的なウェブアドレスについては、以下の表で該当する国の項目を調べてください。

**メモ：**フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合、次の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国 (都市) 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名またはサービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市外局番 市内番号または フリーコール
日本 (川崎)	Webサイト: <a href="http://support.jp.dell.com">support.jp.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポート (Dell Precision™、OptiPlex™、および Latitude™)	フリーコール: 0120-198-433
国番号: 81 市外局番: 44	テクニカルサポート (海外から) (Dell Precision™、OptiPlex™、および Latitude™)	81-44-556-3894

	Fax情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	公共機関セールス（行政機関、教育機関、および医療機関）	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300
アンギラ	一般サポート	フリーコール： 800-335-0031
アンティグアおよびバーブーダ	一般サポート	1-800-805-5924
アルゼンチン（ブエノスアイレス） 国際電話アクセスコード： 00 国番号： 54 市外局番： 11	Webサイト： <a href="http://www.dell.com.ar">www.dell.com.ar</a>	
	テクニカルサポートおよびカスタマーケア	フリーコール： 0-800-444-0733
	セールス	0-810-444-3355
	テクニカルサポート Fax	11 4515 7139
	カスタマーケア Fax	11 4515 7138
アルバ	一般サポート	フリーコール： 800-1578
オーストラリア（シドニー） 国際電話アクセスコード： 0011 国番号： 61 市外局番： 2	Eメール（オーストラリア）： <a href="mailto:au_tech_support@dell.com">au_tech_support@dell.com</a>	
	Eメール（ニュージーランド）： <a href="mailto:nz_tech_support@dell.com">nz_tech_support@dell.com</a>	
	個人および小企業	1-300-65-55-33
	行政機関および企業	フリーコール： 1-800-633-559
	PAD（優先アカウント部門）	フリーコール： 1-800-060-889
	カスタマーケア	フリーコール： 1-800-819-339
	法人セールス	フリーコール： 1-800-808-385
	Dimension/Inspiron セールス	フリーコール： 1-800-808-312
	Fax	フリーコール： 1-800-818-341
オーストリア（ウィーン） 国際電話アクセスコード： 900 国番号： 43 市外局番： 1	Webサイト： <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
	Eメール： <a href="mailto:tech_support_central_europe@dell.com">tech_support_central_europe@dell.com</a>	
	個人/小企業セールス	0820 240 530 00
	個人/小企業 Fax	0820 240 530 49
	個人/小企業カスタマーケア	0820 240 530 14
	優先アカウント/法人カスタマーケア	0820 240 530 16
	個人/小企業テクニカルサポート	0820 240 530 14
	優先アカウント/法人テクニカルサポート	0660 8779
	代表	0820 240 530 00
バハマ	一般サポート	フリーコール： 1-866-278-6818

バルバドス	一般サポート	1-800-534-3066
ベルギー (ブリュッセル)	Webサイト: <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード: 00	Eメール: tech_be@dell.com	
国番号: 32	フランス語使用カスタマー用 Eメール: <a href="http://support.euro.dell.com/be/fr/emaildell/">support.euro.dell.com/be/fr/emaildell/</a>	
市外局番: 2	テクニカルサポート	02 481 92 88
	カスタマーケア	02 481 91 19
	法人セールス	02 481 91 00
	Fax	02 481 92 99
	代表	02 481 91 00
バーミューダ	一般サポート	1-800-342-0671
ボリビア	一般サポート	フリーコール: 800-10-0238
ブラジル	Webサイト: <a href="http://www.dell.com/br">www.dell.com/br</a>	
国際電話アクセスコード: 00	カスタマーサポート、テクニカルサポート	0800 90 3355
国番号: 55	テクニカルサポート Fax	51 481 5470
市外局番: 51	カスタマーケア Fax	51 481 5480
	セールス	0800 90 3390
英領バージン諸島	一般サポート	フリーコール: 1-866-278-6820
ブルネイ	カスタマーテクニカルサポート (マレーシア、ペナン)	604 633 4966
国番号: 673	カスタマーサービス (マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	Dimension/Inspiron セールス (マレーシア、ペナン)	604 633 4955
カナダ (オンタリオ州ノースヨーク)	オンライン案内電話サービス <a href="http://www.dell.ca/ostatus">www.dell.ca/ostatus</a>	
国際電話アクセスコード: 011	AutoTech (自動応答テクニカルサポート)	フリーコール: 1-800-247-9362
	ファックス情報サービス	フリーコール: 1-800-950-1329
	カスタマーケア (個人セールスおよび小企業)	フリーコール: 1-800-847-4096
	カスタマーケア (中/大企業、行政機関)	フリーコール: 1-800-326-9463
	テクニカルサポート (個人セールスおよび小企業)	フリーコール: 1-800-847-4096
	テクニカルサポート (中/大企業、行政機関)	フリーコール: 1-800-387-5757
	セールス (個人セールス/小企業)	フリーコール: 1-800-387-5752
	セールス (中/大企業、行政機関)	フリーコール: 1-800-387-5755
	交換部品セールスおよび延長サービスセールス	1 866 440 3355
ケイマン諸島	一般サポート	1-800-805-7541
チリ (サンティアゴ)	セールス、カスタマーサポート、およびテクニカルサポート	フリーコール: 1230-020-4823
国番号: 56		
市外局番: 2		
中国 (厦門)	テクニカルサポート webサイト: <a href="http://support.ap.dell.com/china">support.ap.dell.com/china</a>	
国番号: 86	テクニカルサポート Eメール: cn_support@dell.com	
市外局番: 592	テクニカルサポート Fax	818 1350
	個人および小企業テクニカルサポート	フリーコール: 800 858 2437

	法人アカウントテクニカルサポート	フリーコール： 800 858 2333
	カスタマーエクスペリエンス	フリーコール： 800 858 2060
	個人および小企業	フリーコール： 800 858 2222
	優先アカウント部門	フリーコール： 800 858 2062
	大口法人アカウント（GCP）	フリーコール： 800 858 2055
	大口法人アカウント（キーアカウント）	フリーコール： 800 858 2628
	大口法人アカウント（北部）	フリーコール： 800 858 2999
	大口法人アカウント（北部行政機関および教育機関）	フリーコール： 800 858 2955
	大口法人アカウント（東部）	フリーコール： 800 858 2020
	大口法人アカウント（東部行政機関および教育機関）	フリーコール： 800 858 2669
	大口法人アカウント（キューチーム）	フリーコール： 800 858 2572
	大口法人アカウント（南部）	フリーコール： 800 858 2355
	大口法人アカウント（西部）	フリーコール： 800 858 2811
	大口法人アカウント（スペア部品）	フリーコール： 800 858 2621
コロンビア	一般サポート	980-9-15-3978
コスタリカ	一般サポート	0800-012-0435
チェコ共和国（プラハ）	Webサイト： <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード： 00	Eメール： <a href="mailto:czech_dell@dell.com">czech_dell@dell.com</a>	
国番号： 420	テクニカルサポート	02 2186 27 27
市外局番： 2	カスタマーケア	02 2186 27 11
	Fax	02 2186 27 14
	ファックス情報サービス	02 2186 27 28
	代表	02 2186 27 11
デンマーク（コペンハーゲン）	Webサイト： <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード： 00	Eメールサポート（ノートブックコンピュータ）： <a href="mailto:den_nbk_support@dell.com">den_nbk_support@dell.com</a>	
国番号： 45	Eメールサポート（デスクトップコンピュータ）： <a href="mailto:den_support@dell.com">den_support@dell.com</a>	
	Eメールサポート（サーバ）： <a href="mailto:Nordic_server_support@dell.com">Nordic_server_support@dell.com</a>	
	テクニカルサポート	7023 0182
	カスタマーケア（リレーショナル）	7023 0184
	個人 / 小企業カスタマーケア	3287 5505
	代表（リレーショナル）	3287 1200
	Fax 代表（リレーショナル）	3287 1201
	代表（個人 / 小企業）	3287 5000
	Fax 代表（個人 / 小企業）	3287 5001
ドミニカ	一般サポート	フリーコール： 1-866-278-6821
ドミニカ共和国	一般サポート	1-800-148-0530
エクアドル	一般サポート	フリーコール： 999-119

エルサルバドル	一般サポート	01-899-753-0777
フィンランド (ヘルシンキ) 国際電話アクセスコード： 990 国番号： 358 市外局番： 9	Webサイト： <b>support.euro.dell.com</b>	
	Eメール： fin_support@dell.com	
	Eメールサポート (サーバ)： Nordic_support@dell.com	
	テクニカルサポート	09 253 313 60
	テクニカルサポート Fax	09 253 313 81
	リレーショナルカスタマーケア	09 253 313 38
	個人 / 小企業カスタマーケア	09 693 791 94
	Fax	09 253 313 99
	代表	09 253 313 00
フランス (パリ) (モンペリエ) 国際電話アクセスコード： 00 国番号： 33 市外局番： (1) (4)	Webサイト： <b>support.euro.dell.com</b>	
	Eメール： <b>support.euro.dell.com/fr/fr/emaildell/</b>	
	個人および小企業	
	テクニカルサポート	0825 387 270
	カスタマーケア	0825 823 833
	代表	0825 004 700
	代表 (フランス国外からの電話)	04 99 75 40 00
	セールス	0825 004 700
	Fax	0825 004 701
	Fax (フランス国外からのFax)	04 99 75 40 01
	法人	
	テクニカルサポート	0825 004 719
	カスタマーケア	0825 338 339
	代表	01 55 94 71 00
	セールス	01 55 94 71 00
Fax	01 55 94 71 01	
ドイツ (ランゲン) 国際電話アクセスコード： 00 国番号： 49 市外局番： 6103	Webサイト： <b>support.euro.dell.com</b>	
	Eメール： tech_support_central_europe@dell.com	
	テクニカルサポート	06103 766-7200
	個人 / 小企業カスタマーケア	0180-5-224400
	グローバルカスタマーケア	06103 766-9570
	優先アカウントカスタマーケア	06103 766-9420
	大口アカウントカスタマーケア	06103 766-9560
	公共機関アカウントカスタマーケア	06103 766-9555
	代表	06103 766-7000
ギリシア 国際電話アクセスコード： 00 国番号： 30	Webサイト： <b>support.euro.dell.com</b>	
	Eメール： support.euro.dell.com/gr/en/emaildell/	
	テクニカルサポート	080044149518
	Gold Technical Support	08844140083

	代表	2108129800
	セールス	2108129800
	Fax	2108129812
グレナダ	一般サポート	フリーコール： 1-866-540-3355
グアテマラ	一般サポート	1-800-999-0136
ガイアナ	一般サポート	フリーコール： 1-877-270-4609
香港	Webサイト： <b>support.ap.dell.com</b>	
国際電話アクセスコード： 001	Eメール： ap_support@dell.com	
国番号： 852	テクニカルサポート (Dimension™ および Inspiron™)	296 93188
	テクニカルサポート (OptiPlex™、Latitude™、および Dell Precision™)	296 93191
	カスタマーサービス (テクニカル以外、セール後の問題)	800 93 8291
	Dimension/Inspiron セールス	フリーコール： 800 96 4109
	大口法人アカウント (HK)	フリーコール： 800 96 4108
	大口法人アカウント (GCP HK)	フリーコール： 800 90 3708
インド	テクニカルサポート	1600 33 8045
	セールス	1600 33 8044
アイルランド (チェリー ウッド)	Webサイト： <b>support.euro.dell.com</b>	
国際電話アクセスコード： 16	Eメール： dell_direct_support@dell.com	
国番号： 353	アイルランドテクニカルサポート	1850 543 543
市外局番： 1	イギリステクニカルサポート (イギリス国内からの電話限定)	0870 908 0800
	個人ユーザカスタマーケア	01 204 4014
	小企業カスタマーケア	01 204 4014
	イギリスカスタマーケア (イギリス国内からの電話限定)	0870 906 0010
	法人カスタマーケア	1850 200 982
	法人カスタマーケア (イギリス国内からの電話限定)	0870 907 4499
	アイルランドセールス	01 204 4444
	イギリスセールス (イギリス国内からの電話限定)	0870 907 4000
	Fax/セールスFax	01 204 0103
	代表	01 204 4444
イタリア (ミラノ)	Webサイト： <b>support.euro.dell.com</b>	
国際電話アクセスコード： 00	Eメール： <b>support.euro.dell.com/it/it/emaildell/</b>	
国番号： 39	個人および小企業	
市外局番： 02	テクニカルサポート	02 577 826 90
	カスタマーケア	02 696 821 14
	Fax	02 696 821 13
	代表	02 696 821 12
	法人	
	テクニカルサポート	02 577 826 90



	カスタマーケア	02 577 825 55
	Fax	02 575 035 30
	代表	02 577 821
ジャマイカ	一般サポート（ジャマイカ国内からの電話限定）	1-800-682-3639
韓国（ソウル）	テクニカルサポート	フリーコール： 080-200-3800
国際電話アクセスコード： 001	セールス	フリーコール： 080-200-3600
国番号： 82	カスタマーサービス（韓国、ソウル）	フリーコール： 080-200-3800
市外局番： 2	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）	604 633 4949
	Fax	2194-6202
	代表	2194-6000
ラテンアメリカ	カスタマーテクニカルサポート（米国、テキサス州オースチン）	512 728-4093
	カスタマーサービス（米国、テキサス州オースチン）	512 728-3619
	Fax（テクニカルサポートおよびカスタマーサービス）（米国、テキサス州オースチン）	512 728-3883
	セールス（米国、テキサス州オースチン）	512 728-4397
	セールスFax（米国、テキサス州オースチン）	512 728-4600 or 512 728-3772
ルクセンブルク	Webサイト： <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード： 00	Eメール： <a href="mailto:tech_be@dell.com">tech_be@dell.com</a>	
国番号： 352	テクニカルサポート（ベルギー、ブリュッセル）	3420808075
	個人/小企業セールス（ベルギー、ブリュッセル）	フリーコール： 080016884
	法人セールス（ベルギー、ブリュッセル）	02 481 91 00
	カスタマーケア（ベルギー、ブリュッセル）	02 481 91 19
	Fax（ベルギー、ブリュッセル）	02 481 92 99
	代表（ベルギー、ブリュッセル）	02 481 91 00
マカオ	テクニカルサポート	フリーコール： 0800 582
国番号： 853	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）	604 633 4949
	Dimension/Inspiron セールス	フリーコール： 0800 581
マレーシア（ペナン）	テクニカルサポート	フリーコール： 1 800 888 298
国際電話アクセスコード： 00	カスタマーサービス	04 633 4949
国番号： 60	Dimension/Inspiron セールス	フリーコール： 1 800 888 202
市外局番： 4	法人セールス	フリーコール： 1 800 888 213
メキシコ	カスタマーテクニカルサポート	001-877-384-8979 または 001-877-269-3383
国際電話アクセスコード： 00	セールス	50-81-8800 または 01-800-888-3355
国番号： 52	カスタマーサービス	001-877-384-8979 または 001-877-269-3383

	代表	50-81-8800 または 01-800-888-3355
モンセラト	一般サポート	フリーコール： 1-866-278-6822
オランダ領アンティリス	一般サポート	001-800-882-1519
オランダ (アムステルダム)	Webサイト： <b>support.euro.dell.com</b> Eメール (テクニカルサポート)： (Enterprise)： nl_server_support@dell.com (Latitude)： nl_latitude_support@dell.com (Inspiron)： nl_inspiron_support@dell.com (Dimension)： nl_dimension_support@dell.com (OptiPlex)： nl_optiplex_support@dell.com (Dell Precision)： nl_workstation_support@dell.com	
国際電話アクセスコード： 00		
国番号： 31		
市外局番： 20		
	テクニカルサポート	020 674 45 00
	テクニカルサポート Fax	020 674 47 66
	個人 / 小企業カスタマーケア	020 674 42 00
	リレーショナルカスタマーケア	020 674 4325
	個人 / 小企業セールス	020 674 55 00
	リレーショナルセールス	020 674 50 00
	個人 / 小企業セールス Fax	020 674 47 75
	リレーショナルセールス Fax	020 674 47 50
	代表	020 674 50 00
	代表 Fax	020 674 47 50
ニュージーランド	Eメール (ニュージーランド)： nz_tech_support@dell.com	
国際電話アクセスコード： 00	Eメール (オーストラリア)： au_tech_support@dell.com	
国番号： 64	個人および小企業	0800 446 255
	行政機関および企業	0800 444 617
	セールス	0800 441 567
	Fax	0800 441 566
ニカラグア	一般サポート	001-800-220-1006
ノルウェー (リサケー)	Webサイト： <b>support.euro.dell.com</b> Eメールサポート (ノートブックコンピュータ)： nor_nbk_support@dell.com	
国際電話アクセスコード： 00	Eメールサポート (デスクトップコンピュータ)： nor_support@dell.com	
国番号： 47	Eメールサポート (サーバ)： nordic_server_support@dell.com	
	テクニカルサポート	671 16882
		671 17514

	リレーショナルカスタマーケア	
	個人 / 小企業カスタマーケア	23162298
	代表	671 16800
	Fax 代表	671 16865
パナマ	一般サポート	001-800-507-0962
ペルー	一般サポート	0800-50-669
ポーランド (ワルシャワ)	Webサイト: <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード: 011	Eメール: <a href="mailto:pl_support@dell.com">pl_support@dell.com</a>	
国番号: 48	カスタマーサービス電話	57 95 700
市外局番: 22	カスタマーケア	57 95 999
	セールス	57 95 999
	カスタマーサービス Fax	57 95 806
	受付 Fax	57 95 998
	代表	57 95 999
ポルトガル	Webサイト: <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード: 00	Eメール: <a href="mailto:support.euro.dell.com/pt/en/emailldell/">support.euro.dell.com/pt/en/emailldell/</a>	
国番号: 351	テクニカルサポート	707200149
	カスタマーケア	800 300 413
	セールス	800 300 410 または 800 300 411 または 800 300 412 または 21 422 07 10
	Fax	21 424 01 12
プエルトリコ	一般サポート	1-800-805-7545
セント キッツ・ネイビス	一般サポート	フリーコール: 1-877-441-4731
セント セントルシア	一般サポート	1-800-882-1521
セント セントビンセント およびグレナディーン	一般サポート	フリーコール: 1-877-270-4609
シンガポール (シンガポール)	テクニカルサポート	フリーコール: 800 6011 051
	カスタマーサービス (マレーシア、ペナン)	604 633 4949
国際電話アクセスコード: 005	Dimension/Inspiron セールス	フリーコール: 800 6011 054
国番号: 65	法人セールス	フリーコール: 800 6011 053
南アフリカ (ヨハネスバーク)	Webサイト: <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
	Eメール: <a href="mailto:dell_za_support@dell.com">dell_za_support@dell.com</a>	
国際電話アクセスコード: 09/091	テクニカルサポート	011 709 7710
国番号: 27	カスタマーケア	011 709 7707
市外局番: 11	セールス	011 709 7700
	Fax	011 706 0495
	代表	011 709 7700
東南アジア / 太平洋沿岸 諸国	カスタマーテクニカルサポート、カスタマーサービス、および セールス (マレーシア、ペナン)	604 633 4810
スペイン (マドリード)	Webサイト: <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	

国際電話アクセスコード： 00 国番号： 34 市外局番： 91	Eメール： <a href="mailto:support.euro.dell.com/es/es/emailldell/">support.euro.dell.com/es/es/emailldell/</a>	
	個人および小企業	
	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 540
	セールス	902 118 541
	代表	902 118 541
	Fax	902 118 539
	法人	
	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 546
	代表	91 722 92 00
	Fax	91 722 95 83
	スウェーデン (アップランズヴェスビー) 国際電話アクセスコード： 00 国番号： 46 市外局番： 8	Webサイト： <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>
Eメール： <a href="mailto:swe_support@dell.com">swe_support@dell.com</a>		
Eメールサポート (Latitude および Inspiron)： <a href="mailto:Swe-nbk_kats@dell.com">Swe-nbk_kats@dell.com</a>		
Eメールサポート (OptiPlex)： <a href="mailto:Swe_kats@dell.com">Swe_kats@dell.com</a>		
Eメールサポート (サーバ)： <a href="mailto:Nordic_server_support@dell.com">Nordic_server_support@dell.com</a>		
テクニカルサポート		08 590 05 199
リレーショナルカスタマーケア		08 590 05 642
個人 / 小企業カスタマーケア		08 587 70 527
従業員購入プログラム (EPP) サポート		20 140 14 44
Fax テクニカルサポート		08 590 05 594
セールス	08 590 05 185	
スイス (ジュネーブ) 国際電話アクセスコード： 00 国番号： 41 市外局番： 22	Webサイト： <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
	Eメール： <a href="mailto:swisstech@dell.com">swisstech@dell.com</a>	
	フランス語使用 HSB および法人カスタマー用 Eメール： <a href="mailto:support.euro.dell.com/ch/fr/emailldell/">support.euro.dell.com/ch/fr/emailldell/</a>	
	テクニカルサポート (個人および小企業)	0844 811 411
	テクニカルサポート (法人)	0844 822 844
	カスタマーケア (個人および小企業)	0848 802 202
	カスタマーケア (法人)	0848 821 721
	Fax	022 799 01 90
代表	022 799 01 01	
台湾 国際電話アクセスコード： 002 国番号： 886	テクニカルサポート (ノートブックおよびデスクトップコンピュータ)	フリーコール： 00801 86 1011
	テクニカルサポート (サーバ)	フリーコール： 0080 60 1256
	Dimension/Inspiron セールス	フリーコール： 0080 651 228 または 0800 33 556

	法人セールス	フリーコール： 0080 651 227 または 0800 33 555
タイ	テクニカルサポート	フリーコール： 0880 060 07
国際電話アクセスコード： 001	カスタマーサービス（マレーシア、ペナン）	604 633 4949
国番号： 66	セールス	フリーコール： 0880 060 09
トリニダードノトバゴ	一般サポート	1-800-805-8035
タークス・カイコス諸島	一般サポート	フリーコール： 1-866-540-3355
イギリス（ブラックネル）	Webサイト： <a href="http://support.euro.dell.com">support.euro.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード： 00	カスタマーケア webサイト： <a href="http://support.euro.dell.com/uk/en/ECare/Form/Home.asp">support.euro.dell.com/uk/en/ECare/Form/Home.asp</a>	
国番号： 44	Eメール： <a href="mailto:dell_direct_support@dell.com">dell_direct_support@dell.com</a>	
市外局番： 1344	テクニカルサポート（法人/優先アカウント/PAD [従業員数 1000人以上]）	0870 908 0500
	テクニカルサポート（ダイレクト/PAD および一般）	0870 908 0800
	グローバルアカウントカスタマーケア	01344 373 186
	個人および小企業カスタマーケア	0870 906 0010
	法人カスタマーケア	01344 373 185
	Preferred Accounts（500-5000 employees）Customer Care	0870 906 0010
	中央政府機関カスタマーケア	01344 373 193
	地方自治体および教育機関カスタマーケア	01344 373 199
	保健機関カスタマーケア	01344 373 194
	個人および小企業セールス	0870 907 4000
	法人/公共機関セクターセールス	01344 860 456
ウルグアイ	一般サポート	フリーコール： 000-413-598-2521
米国（テキサス州オースチン）	24 時間納期案内電話サービス	フリーコール： 1-800-433-9014
国際電話アクセスコード： 011	AutoTech（ノートブックおよびデスクトップコンピュータ）	フリーコール： 1-800-247-9362
国番号： 1	購入者（個人およびホームオフィス）	
	テクニカルサポート	フリーコール： 1-800-624-9896
	カスタマーサービス	フリーコール： 1-800-624-9897
	DellNet™ サービスおよびサポート	フリーコール： 1-877-Dellnet (1-877-335-5638)
	従業員購入プログラム（EPP）カスタマー	フリーコール： 1-800-695-8133
	ファイナンシャルサービス webサイト： <a href="http://www.dellfinancialservices.com">www.dellfinancialservices.com</a>	
	ファイナンシャルサービス（リース/ローン）	フリーコール： 1-877-577-3355
	ファイナンシャルサービス（デル優先アカウント [DPA]）	フリーコール： 1-800-283-2210
	企業	
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート	フリーコール： 1-800-822-8965
	従業員購入プログラム（EPP）カスタマー	フリーコール： 1-800-695-8133

	プロジェクターテクニカルサポート	フリーコール： 1-877-459-7298
	公共機関（行政機関、教育機関、および医療機関）	
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート	フリーコール： 1-800-456-3355
	従業員購入プログラム（EPP）カスタマー	フリーコール： 1-800-234-1490
	デルセールス	フリーコール： 1-800-289-3355 またはフリーコール： 1-800-879-3355
	デルアウトレットストア（デル修理コンピュータ）	フリーコール： 1-888-798-7561
	ソフトウェアおよび周辺機器セールス	フリーコール： 1-800-671-3355
	交換部品販売	フリーコール： 1-800-357-3355
	延長サービスおよび保証セールス	フリーコール： 1-800-247-4618
	Fax	フリーコール： 1-800-727-8320
	聴覚・言語障害者のためのサービス	フリーコール： 1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)
U.S. バージン諸島	一般サポート	1-877-673-3355
ベネズエラ	一般サポート	8001-3605

# 問題の解決

- [電源の問題](#)
- [エラーメッセージ](#)
- [ビデオとディスプレイの問題](#)
- [サウンドとスピーカーの問題](#)
- [プリンタの問題](#)
- [モデムおよびインターネット接続の問題](#)
- [タッチ패드またはマウスの問題](#)
- [外付けキーボードの問題](#)
- [入力時の問題](#)
- [ドライブの問題](#)
- [PC カードの問題](#)
- [スマートカードの問題](#)
- [ネットワークの問題](#)
- [プログラムの一般的な問題](#)
- [Dell™ コンピュータが濡れた場合](#)
- [コンピュータを落としたり損傷を与えた場合](#)
- [その他の技術的な問題の解決](#)

## 電源の問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

**電源ライトを確認します** — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータの電源が入っています。電源ライトが点滅している場合は、コンピュータがスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押して[スタンバイモード](#)を終了します。ライトが消灯している場合は、電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れるかまたは[休止状態モード](#)を終了します。

**バッテリーを充電します** — バッテリーが充電されていないことがあります。

- バッテリーを取り付けなおします。
- AC アダプタを使用して、コンピュータをコンセントに接続します。
- コンピュータの電源を入れます。

**バッテリーステータスライトを確認します** — バッテリーステータスライトが橙色に点滅または点灯している場合、バッテリーの充電が低下しているか充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが緑色と橙色に点滅している場合、バッテリーが熱を持っていて充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**AC アダプタを確認します** — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

**コンピュータを直接コンセントに接続します** — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。

**電氣的な妨害を除去します** — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

**電源のプロパティを調整します** — 「[電力の管理](#)」を参照してください。

**メモリモジュールを取り付けなおします** — コンピュータの電源ライトが点灯しているのに画面に何も表示されない場合、[メモ](#)

[リモジュールを取り付けなおします。](#)

## エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムのマニュアル、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

**Auxiliary device failure (補助デバイスエラー)** — タッチパッド、トラックスティック、または外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで Pointing Device オプションの設定を有効にします。問題が解決しない場合、[デルにお問い合わせください](#)。

**Bad command or file name (コマンド名またはファイル名が違う)** — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいか確認します。

**Cache disabled due to failure (障害によるキャッシュの無効)** — マイクロプロセッサに内蔵のプライマリキャッシュに問題が発生しました。[デルにお問い合わせください](#)。

**CD drive controller failure (CD ドライブコントローラエラー)** — CD ドライブが、コンピュータからのコマンドにตอบสนองしません。「[ドライブの問題](#)」を参照してください。

**Data error (データエラー)** — フロッピードライブまたはハードドライブがデータを読み取れません。「[ドライブの問題](#)」を参照してください。

**Decreasing available memory (使用可能メモリ減少)** — 1 つまたは複数のメモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。[メモリモジュールを取り付けなおす](#)か、必要であれば取り替えてください。

**Disk C: failed initialization (ディスク C: の初期化失敗)** — ハードドライブの初期化に失敗しました。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Hard-Disk Drive テストを実行します。

**Floppy drive 0 seek failure (フロッピードライブ 0 シークエラー)** — システム設定情報がハードウェア構成と一致していない可能性があります。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Diskette テストを実行します。

**Diskette read failure (ディスクレット読み取りエラー)** — フロッピーディスクに問題がある可能性があります。ドライブライトが点灯する場合、別のディスクを試してみます。「[ドライブの問題](#)」を参照してください。

**Diskette subsystem reset failed (ディスクレットサブシステムリセット失敗)** — フロッピードライブコントローラに問題がある可能性があります。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Diskette テストを実行します。

**Diskette write-protected (ディスクレットの書き込み禁止)** — フロッピーディスクへの書き込みが禁止されているため、作業を終了できません。書き込み禁止ノッチのタブを上スライドさせます。

**Drive not ready (ドライブの準備ができていません)** — 処理を続けるには、ドライブにフロッピーディスクを挿入するか、ドライブベイにハードドライブを挿入します。ドライブにフロッピーディスクを挿入するか、フロッピーディスクを取り出しボタンが上がるまでドライブに押し入れます。または、ハードドライブベイに[ハードドライブを取り付けます](#)。

**Error reading PCMCIA card (PCMCIA カードの読み取りエラー)** — コンピュータが PC カードを認識できません。[カードを挿入しなおす](#)か、別の PC カードを使用してください。

**Extended memory size has changed (拡張メモリの容量が変更されています)** — NVRAM に記録されているメモリ容量が実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合、[デルにお問い合わせください](#)。



**Gate A20 failure (ゲート A20 エラー)** — メモリモジュールが緩んでいる可能性があります。[メモリモジュールを取り付けなおす](#)か、必要であれば取り替えます。

**General failure (一般的エラー)** — オペレーティングシステムがコマンドを実行できません。通常、このメッセージの後ろには具体的な情報が付きます (たとえば、Printer out of paper [プリンタの用紙がありません])。適切な対応策に従います。

**Hard-disk drive configuration error (ハードディスクドライブ設定エラー)** — コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータの電源を切り、[ハードドライブを取り外し](#)、コンピュータを起動フロッピーディスクまたは CD から起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Hard-Disk Drive テストを実行します。

**Hard-disk drive controller failure 0 (ハードディスクドライブコントローラエラー 0)** — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータの電源を切り、[ハードドライブを取り外し](#)、コンピュータを起動フロッピーディスクまたは CD から起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Hard-Disk Drive テストを実行します。

**Hard-disk drive failure (ハードディスクドライブエラー)** — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータの電源を切り、[ハードドライブを取り外し](#)、コンピュータを起動フロッピーディスクまたは CD から起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Hard-Disk Drive テストを実行します。

**Hard-disk drive read failure (ハードディスクドライブ読み取りエラー)** — ハードドライブに問題がある可能性があります。コンピュータの電源を切り、[ハードドライブを取り外し](#)、コンピュータを起動フロッピーディスクまたは CD から起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Hard-Disk Drive テストを実行します。

**Insert bootable media (起動用メディアを挿入します)** — オペレーティングシステムが起動できないフロッピーディスクまたは CD から起動しようとしています。起動フロッピーディスクまたは CD を挿入します。

**Invalid configuration information-please run System Setup Program (システム情報が間違っています — セットアップユーティリティを実行してください)** — システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティで対応するオプションを修正します。「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照してください。

**Keyboard clock line failure (キーボードクロックラインエラー)** — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Keyboard Controller テストを実行します。

**Keyboard controller failure (キーボードコントローラエラー)** — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Keyboard Controller テストを実行します。

**Keyboard data line failure (キーボードデータラインエラー)** — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Keyboard Controller テストを実行します。

**Keyboard stuck key failure (キーボードスタックキーエラー)** — 外付けキーボードまたはキーパッドを使用している場合、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Stuck Key テストを実行します。

**Memory data line failure at address, read value expecting value (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー)** — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。[メモリモジュールを取り付けなおす](#)か、必要であれば取り替えます。

**Memory allocation error (メモリ割り当てエラー)** — 実行しようとしているソフトウェアがオペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラムまたはユーティリティとコンフリクトしています。コンピュータの電源を切り、30 秒

待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージがまだ表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

**Memory data line failure at address, read value expecting value** (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。[メモリモジュールを取り付けなおす](#)か、必要であれば取り替えます。

**Memory double word logic failure at address, read value expecting value** (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。[メモリモジュールを取り付けなおす](#)か、必要であれば取り替えます。

**Memory odd/even logic failure at address, read value expecting value** (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇 / 偶ロジックエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。[メモリモジュールを取り付けなおす](#)か、必要であれば取り替えます。

**Memory write/read failure at address, read value expecting value** (アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー) — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。[メモリモジュールを取り付けなおす](#)か、必要であれば取り替えます。

**No boot device available** (起動デバイスなし) — コンピュータがフロッピーディスクまたはハードドライブを見つけることができません。フロッピードライブが起動デバイスの場合、起動フロッピーディスクがドライブに挿入されていることを確認します。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分 (パーティション) されているか確認します。

**No boot sector on hard drive** (ハードドライブにブートセクターなし) — オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。[デルにお問い合わせください](#)。

**No timer tick interrupt** (タイマーチェック割り込み信号なし) — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の System Set テストを実行します。

**Non-system disk or disk error** (非システムディスクまたはディスクエラーです) — フロッピーディスクが、フロッピードライブ内にあります。フロッピーディスクを取り出して、コンピュータを再起動します。

**Not a boot diskette** (非起動用ディスク) — オペレーティングシステムが起動用以外のフロッピーディスクから起動しようとしています。起動フロッピーディスクを挿入します。

**Operating system not found** (オペレーティングシステムが見つかりません) — [デルにお問い合わせください](#)。

**Optional ROM bad checksum** (オプション ROM のチェックサムが違います) — オプションの ROM に問題があります。[デルにお問い合わせください](#)。

**A required .DLL file was not found** (必要な .DLL ファイルが見つかりません) — 開こうとしているプログラムに必要なファイルが見つかりません。プログラムを削除してから、再インストールします。

#### Microsoft® Windows® XP

- スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- プログラムの追加と削除 をクリックします。
- 削除するプログラムを選択します。
- 削除 ボタンまたは 変更と削除 ボタンをクリックして、画面の指示に従います。
- インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

#### Windows 2000

- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- アプリケーションの追加と削除 アイコンをダブルクリックします。
- 削除するプログラムを選択します。
- 削除 ボタンまたは 変更 / 削除 ボタンをクリックします。
- インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

**Sector not found (セクターが見つかりません)** — オペレーティングシステムがフロッピードライブまたはハードドライブ上のセクターを検出できません。フロッピーディスクまたはハードドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、フロッピーディスクまたはハードドライブのファイル構造を調べます。手順については、[Windows のヘルプとサポートセンター](#) (Windows 2000 では『ヘルプ』) を参照してください。多くのセクターに障害がある場合、可能であればデータをバックアップし、フロッピーディスクまたはハードドライブを再フォーマットします。

**Seek error (シークエラー)** — オペレーティングシステムがフロッピーディスクまたはハードドライブ上の特定のトラックを検出できません。エラーがフロッピーディスクに関するものである場合、別のフロッピーディスクを使用します。

**Shutdown failure (終了エラー)** — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の System Set テストを実行します。

**Time-of-day clock lost power (内部時計の電力低下)** — システム構成設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決されない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試みます。それからすぐにプログラムを終了します。「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照してください。メッセージが再表示される場合は、[デルにお問い合わせください](#)。

**Time-of-day clock stopped (内部時計動作停止)** — システム設定をサポートする予備バッテリーが切れた可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合、[デルにお問い合わせください](#)。

**Time-of-day not set-please run the System Setup program (時間が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください)** — セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。Date と Time オプションの設定を修正します。「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照してください。

**Timer chip counter 2 failed (タイマーチップカウンタ 2 エラー)** — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の System Set テストを実行します。

**Unexpected interrupt in protected mode (保護モードで不正割り込みが発生)** — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の System Memory テストと Keyboard Controller テストを実行します。


**x:\ is not accessible. (デバイスの準備ができていません)** — ディスクをドライブに挿入してもう一度アクセスします。

**Warning: Battery is critically low (警告：バッテリーが極めて低下しています)** — [バッテリーの充電量が不足しています](#)。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、[休止状態モード](#)をアクティブにするか、コンピュータの電源を切ります。

## ビデオとディスプレイの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

### 画面に何も表示されない場合

 **メモ：** お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。



**バッテリーを確認します** — コンピュータをバッテリーで動作している場合は、バッテリー充電残量が消費されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**AC アダプタを確認します** — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

**コンピュータを直接コンセントに接続します** — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。

**電源のプロパティを調整します** — Windows 『ヘルプ』 または [Windows ヘルプとサポートセンター](#) で「スタンバイ」というキーワードを検索します。

**画面モードを操作します** — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合、  を押して画面モードを切り換えます。

## 画面が見つからない場合

**輝度を調整します** — 輝度の調整については、「[輝度の調整](#)」を参照してください。

**サブウーハーをコンピュータまたはモニターから遠ざけます** — 外付けスピーカーのシステムにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがコンピュータまたは外付けモニターから 60 cm 以上離れているか確認します。

**電気的な妨害を除去します** — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

**コンピュータの向きを変えます** — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

### Windows のディスプレイ設定を調整します

#### Windows XP

- スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- デスクトップの表示とテーマ をクリックします。
- 変更したいエリアをクリックするか、画面 アイコンをクリックします。
- 画面の色 および 画面の解像度 で別の設定にしてみます。

#### Windows 2000

- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- 画面 アイコンをダブルクリックして、設定 タブをクリックします。
- 色、画面の領域、および 詳細設定 で別の設定にしてみます。

**Video 診断テストを実行します** — エラーメッセージが表示されず、画面の問題があるにもかかわらず画面の一部は表示される場合、[Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#) の Video デバイスグループを実行します。その後、[デルにお問い合わせください](#)。

「エラーメッセージ」を確認する — エラーメッセージが表示される場合は、「[エラーメッセージ](#)」を参照してください。

## 画面の一部しか表示されない場合

**外付けモニタを接続します。**

- コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
- コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニタが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。[デルにお問い合わせください。](#)

## サウンドとスピーカーの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

### 内蔵スピーカーに問題がある場合

**Windows** で音量を調節します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

キーボードショートカットを使って音量を調整します — 「[キーボードとタッチパッドの使い方](#)」を参照してください。



を押すと、内蔵スピーカーを無効（ミュート）にしたり、再び有効にしたりすることができます。



サウンド（オーディオ）ドライバの再インストール — 「[ドライバとユーティリティの再インストール](#)」を参照してください。

**CD** ドライブのデジタルオーディオが有効になっているか確認します（Windows 2000 のみ） —

- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- システム アイコンをダブルクリックします。
- ハードウェア タブをクリックします。
- デバイスマネージャ をクリックします。
- DVD/CD-ROM ドライブ をダブルクリックします。
- ドライブ名をダブルクリックします。
- ドライブの プロパティ 画面で、プロパティ タブをクリックします。
- 画面の最下段のボックスをクリックして、CD または DVD ドライブのデジタルオーディオを有効にします。

### 外付けスピーカーに問題がある場合

**メモ：** MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴く場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

スピーカーケーブルの接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

スピーカーの電源が入っていることを確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。

**Windows** で音量を調節します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

スピーカーを確認します — スピーカーのオーディオケーブルをコンピュータのライン出力コネクタ に接続します。ヘッドフォンの音量が上げてあることを確認して、音楽 CD を再生します。

スピーカーのセルフテストを実行します — スピーカーによっては、セルフテストボタンがサブウーハーにあります。スピーカーのマニュアルを参照して、セルフテストを実行します。

電氣的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

サウンド (オーディオ) ドライバの再インストール — 「[ドライバとユーティリティの再インストール](#)」を参照してください。

Misc. PCI Devices 診断テストを実行します — 「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」を参照してください。テストが問題なく完了すると、コントローラが適切に機能します。

問題が解決されない場合や、テストが正常に完了しない場合は、[デルにお問い合わせください](#)。

CD ドライブのデジタルオーディオが有効になっているか確認します (Windows 2000 のみ) —

- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- システム アイコンをダブルクリックします。
- ハードウェア タブをクリックします。
- デバイスマネージャ をクリックします。
- DVD/CD-ROM ドライブ をダブルクリックします。
- ドライブ名をダブルクリックします。
- ドライブのプロパティ 画面で、プロパティ タブをクリックします。
- 画面の最下段のボックスをクリックして、CD または DVD ドライブのデジタルオーディオを有効にします。

## プリンタの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)を記入してください。

プリンタケーブルの接続を確認します — プリンタケーブルがコンピュータに正しく接続されているか確認します。

プリンタケーブルの接続を確認します —

- コンピュータをシャットダウンして、プリンタの電源を切ります。
- プリンタケーブルを動作確認のとれているケーブルと交換します。
- プリンタおよびコンピュータの電源を入れ、再度印刷してみます。
- 正常に印刷されたら、[デルのテクニカルサポートに問い合わせ](#)て、新しいプリンタケーブルの購入について案内を聞いてください。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

プリンタの電源が入っているか確認します — プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

Windows がプリンタを認識しているか確認します —

Windows XP

- スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- プリンタとその他のハードウェア をクリックします。
- インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する をクリックします。プリンタが表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。
- プロパティ をクリックして、ポート タブをクリックします。印刷するポート を LPT1:プリンタポート に設定します。

Windows 2000



- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、プリンタ をクリックします。
- プリンタが表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。

- プロパティ をクリックして、ポート タブをクリックします。
- 印刷先のポート オプションが **USB** に設定されていることを確認します。


プリンタドライバを再インストールします — 「[ドライバとユーティリティの再インストール](#)」を参照してください。

プリンタを確認します — プリンタのセルフテストを実行します。テストが正常に完了しない場合、プリンタが不良の可能性があります。プリンタの製造元にお問い合わせください。

## モデムおよびインターネット接続の問題

-  **注意:** モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線 (ISDN) に接続した場合、モデムの故障原因となります。
-  **注意:** モデムおよびネットワークコネクタは同じように見えます。電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

-  **メモ:** ISP (インターネットサービスプロバイダ) に接続できる場合、モデムは正常に機能しています。モデムが正常に機能しているのに、まだ問題が解決できない場合、ISP にお問い合わせください。

電話ジャックを確認します — 電話線をモデムから抜いて、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。プッシュホンサービスを受けているか確認します。モデムを別の電話ジャックに接続してみます。

電話回線やネットワーク状況などによって生じる電話機のノイズのため、接続速度が遅くなる場合があります。詳細については、電話会社、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

モデムを直接電話ジャックへ接続します — 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど、同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話線を使ってモデムを直接電話ジャックに接続してみます。

接続を確認します — 電話線がモデムに接続されているか確認します。

電話線を確認します — 他の電話線を使用してみます。3 メートル以内の電話線を使用します。

聞きなれないダイヤル音 — ボイスメールサービスを受けている場合、メッセージを受けたときに聞きなれないダイヤル音がすることがあります。ダイヤル音を元に戻す手順については、電話会社にお問い合わせください。

キャッチホン機能の設定を解除します — キャッチホン機能を解除します。次に、ダイヤルアップネットワーク接続のプロパティを変更します。

### Windows XP

- スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- プリンタとその他のハードウェア をクリックして、電話とモデムのオプション をクリックします。次に、ダイヤル情報 タブをクリックして、編集 をクリックします。
- 所在地の編集 ウィンドウで、キャッチホン機能を解除するための番号 にチェックマークが付いているか確認し、一覧でコードをクリックするか、または電話会社から提供されたシーケンスを入力します。
- 適用 をクリックして、OK をクリックします。
- 電話とモデムのオプション ウィンドウを閉じます。
- コントロールパネル を閉じます。

### Windows 2000

- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- 電話とモデムのオプション アイコンをダブルクリックします。
- ダイヤル情報 タブをクリックして、編集 をクリックします。
- キャッチホン機能を解除するための番号 にチェックマークが付いているか確認し、一覧でコードをクリックするか、ま

- たは電話会社から提供されたシーケンスを入力します。
- 適用 をクリックして、OK をクリックします。
  - 電話とモデムのオプション ウィンドウを閉じます。

### モデムが Windows と通信しているか確認します –

#### Windows XP

- スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- プリンタとその他のハードウェア をクリックして、電話とモデムのオプション をクリックします。
- モデム タブをクリックします。
- モデムの COM ポートをクリックします。
- モデムが Windows と通信していることを確認するため、プロパティ をクリックし、診断 タブをクリックして、モデムの照会 をクリックします。

すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

#### Windows 2000

- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- 電話とモデムのオプション をダブルクリックします。

同じモデムが複数表示されていたりインストールしていないモデムが表示されている場合、不要なモデムを削除しコンピュータを再起動して、手順 1 および 2 をくり返します。

- モデム タブをクリックします。
- モデムの COM ポートをクリックします。
- モデムが Windows と通信していることを確認するため、プロパティ をクリックし、診断 タブをクリックして、モデムの照会 をクリックします。

すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

## タッチパッドまたはマウスの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)を記入してください。

### タッチパッドの設定を確認します –

#### Windows XP

- スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル をクリックして、プリンタとその他のハードウェア をクリックします。
- マウス をクリックします。
- 設定を調整します。

#### Windows 2000

- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- マウス アイコンをダブルクリックします。
- 設定を調整します。

**マウスケーブルを確認します –** コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

### マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します –

- コンピュータをシャットダウンします。



- マウスを外します。
- コンピュータの電源を入れます。
- Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを移動し、アイコンを選択して開きます。

タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。


**セットアップユーティリティの設定を確認します** — セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します。（コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します。）

**マウスコントローラをテストします** — マウスコントローラ（ポインタの動きに影響します）およびタッチパッドまたはマウスボタンの動作を確認するには、[Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)の **Pointing Devices** テストグループの **Mouse** テストを実行します。

**タッチパッドドライバの再インストール** — 「[ドライバとユーティリティの再インストール](#)」を参照してください。

## 外付けキーボードの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)を記入してください。

 **メモ**：MS-DOS<sup>®</sup> モードで動作しているとき、あるいは [Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#) またはセットアップユーティリティを実行するときは、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

**キーボードケーブルを確認します** — コンピュータをシャットダウンします。キーボードケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

**外付けキーボードを確認します** —

- コンピュータをシャットダウンして、1 分待ってから再度電源を入れます。
- 起動ルーチン中にキーボード上の NumLock、CapsLock、および Scroll Lock ライトの点滅状態を確認します。
- Windows デスクトップから、スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム（または プログラム）、アクセサリの順にポイントして、メモ帳 をクリックします。
- 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順を確認ができない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。



**外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します** —

- コンピュータをシャットダウンします。
- 外付けキーボードを取り外します
- コンピュータの電源を入れます。
- Windows デスクトップから、スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム（または プログラム）、アクセサリの順にポイントして、メモ帳 をクリックします。
- 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

**キーボードの診断テストを実行します** — [Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)の **PC-AT Compatible Keyboards** テストを実行します。テストによって外付けキーボードの問題であると表示された場合、[デルにお問い合わせください](#)。

## 入力時の問題

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合は、  を押してテンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

## ドライブの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

### フロッピードライブにファイルに保存できない場合

外付けのフロッピードライブがコンピュータに接続されていることを確認します — [フロッピードライブを Dell D/Bay に取り付ける](#)か、またはオプションの USB ケーブルを使ってフロッピードライブをコンピュータに接続します。

**Windows がドライブを認識しているか確認します** — [Windows XP](#) の場合、スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ をクリックします。[その他のオペレーティングシステムの場合](#)、マイコンピュータ をダブルクリックします。ドライブが表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。起動ディスクを挿入してコンピュータを再起動します。

**ディスクが書き込み禁止になっていないか確認します** — 書き込み禁止になっているディスクにデータを保存することはできません。

**別のフロッピーディスクを使用します** — 元のディスクに問題がないことを確認するため、別のディスクを挿入します。

**ドライブを再度取り付けます** —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
- ドライブを [Dell D/Bay](#) から取り外します。
- ドライブを再び取り付けます。
- コンピュータの電源を入れます。


**D/Bay ケーブルを確認します** — コンピュータをシャットダウンします。D/Bay ケーブルをコンピュータから外し、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

**ドライブをクリーニングします** — 「[コンピュータをクリーニングする](#)」の手順を参照してください。

**ドライブのエラーを確認します** —

- ドライブのエラーメッセージが表示される場合、「[エラーメッセージ](#)」の説明を参照してください。
- 「[Dell Diagnostics \(診断\) プログラムの使い方](#)」の Diskette テストを実行します。

### CD、CD-RW、DVDまたは DVD+RW を再生できない場合

 **メモ**：世界各国にはさまざまなファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

高速 CD ドライブの振動は異常ではなく、ノイズを引き起こすこともあります。このノイズは、ドライブや CD の異常ではありません。

**Windows がドライブを認識しているか確認します** — Windows XP の場合、スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ をクリックします。その他のオペレーティングシステムの場合、マイコンピュータ をダブルクリックします。ドライブが表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。起動ディスクを挿入してコンピュータを再起動します。

**別のディスクを使用します** — 元のディスクに問題がないことを確認するため、別のディスクを挿入します。

**Windows で音量を調節します** — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。

**ドライブを再度取り付けます**

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
- ドライブを取り外します。手順については、「[Dell™ D/Bay の使い方](#)」を参照してください。
- ドライブを再び取り付けます。
- コンピュータの電源を入れます。

**ドライブまたはディスクをクリーニングします** — 「[コンピュータをクリーニングする](#)」の手順を参照してください。

**ドライブのエラーを確認します**

ドライブのエラーメッセージが表示される場合、「[エラーメッセージ](#)」の説明を参照してください。

[Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)の IDE Drives テストを実行します。

## CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが取り出せない場合

- コンピュータの電源が切れていることを確認します。
- クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にある取り出し穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
- トレイが止まるまで、慎重に引き出します。

## 聞きなれない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

## CD-RW または DVD+RW ドライブで書き込みが止まってしまう場合

**CD-RW への書き込みの前に Windows のスタンバイモードまたは休止状態モードを無効にします** — Windows 『ヘルプ』または [Windows ヘルプとサポートセンター](#)で「スタンバイ」または「休止状態」というキーワードを検索します。

**書き込み処理速度を低く設定します** — お使いの CD または DVD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

**実行中のその他すべてのプログラムを閉じます** — CD-RW または DVD+RW に書き込む前に、実行中のその他すべてのプログラムを閉じることで、問題を回避できる場合があります。

## ハードドライブに問題がある場合

コンピュータを室温に戻してから電源を入れます — ハードドライブが熱を持っているために、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

ドライブのエラーを確認します —

- Windows のエラーチェックツールを実行します。

Windows XP の場合、スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ をクリックします。Windows 2000 の場合、マイコンピュータ をダブルクリックします。

エラーが起きているか調べるドライブのドライブ文字（ローカルディスク）を右クリックして、プロパティ をクリックします。

ツール タブをクリックします。

エラーチェック の項目の チェックする をクリックします。

開始 をクリックします。

- [Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)の IDE Drives テストを実行します。

## PC カードの問題

PC カードを確認します — PC カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

カードが **Windows** によって認識されているか確認します — Windows タスクバーの ハードウェアの安全な取り外し（または Windows 2000 の場合、ハードウェアの取り外しまたは取り出し）アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。

PC カードの診断テストを実行します — Diagnostics (診断) テストがカードに含まれている場合、手順については、PC カードに付属のマニュアルを参照してください。

デルから購入した PC カードに問題がある場合 — [デルにお問い合わせください](#)。

デル以外から購入した PC カードに問題がある場合 — PC カードの製造元にお問い合わせください。

## スマートカードの問題

スマートカードを確認します — スマートカードが正しくスマートカードスロットに挿入されているか確認します。

スマートカードが **Windows** によって認識されているか確認します — Windows タスクバーの ハードウェアの安全な取り外し（または Windows 2000 の場合、ハードウェアの取り外しまたは取り出し）アイコンをダブルクリックします。スマートカードが一覧表示されていることを確認します。

デルから購入したスマートカードに問題がある場合 — [デルにお問い合わせください](#)。

デル以外から購入したスマートカードに問題がある場合 — スマートカードの製造元にお問い合わせください。

## ネットワークの問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルコネクタが、コンピュータのコネクタおよび壁のネットワークジャックにしっかりと接続されているか確認します。

ネットワークコネクタのネットワークライトを確認します — 緑色に点灯している場合、ネットワークの接続に問題はありません。緑色に点灯していない場合、ネットワークケーブルを取り替えます。橙色に点灯している場合、ネットワークアダプタドライバが起動し、アダプタがアクティビティを検出しています。


コンピュータを再起動します — もう一度、ネットワークにログオンしてみます。

ネットワーク管理者に問い合わせます — ネットワーク設定が正しいこと、およびネットワークが機能していることを確認します。

## プログラムの一般的な問題

以下を確認しながら、[Diagnostics \(診断\) チェックリスト](#)に必要事項を記入してください。




### プログラムが壊れた場合

 **メモ:** 通常、ソフトウェアのインストールの手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 多くのソフトウェアメーカーは、問題の解決方法をウェブサイトに掲載しています。プログラムが正しくインストールおよび設定されていることを確認します。必要に応じて、プログラムを再インストールします。

### プログラムが動かなくなった

プログラムを終了します —

-    を同時に押します。
- アプリケーション タブをクリックして、反応がなくなったプログラムを選択します。
- タスクの終了 をクリックします。

### 画面の表示が青一色になった

コンピュータの電源を切ります — コンピュータがキーストローク機能や正しいシャットダウン手順に反応しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを押します。次に、再度電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。

[Windows XP](#)

コンピュータが再起動します。


Windows を正常に終了できなかった場合、画面の表示が青一色になり、スキャンディスクが自動的に実行されますので、起動時にスキャンディスクが自動的に実行されます。画面に表示される指示に従ってください。

## エラーメッセージが表示される場合

「[エラーメッセージ](#)」を見なおします – メッセージを調べて、適切な処置を行います。ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

問題がソフトウェアに関連していることを確認します – [Dell Diagnostics \(診断\) プログラム](#)の System Board Devices テストを実行します。デバイスグループ上のすべてのテストが正常に実行される場合、ソフトウェアに関連した問題である可能性があります。ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## Dell™ コンピュータが濡れた場合

 **警告:** この手順は、必ず安全であることを確認した上で実行してください。コンピュータがコンセントに接続されている場合、回路ブレーカで AC 電源をオフにしてから、電源ケーブルを抜くことをお勧めします。濡れたケーブルを通電しているコンセントから抜くときは細心の注意を払ってください。

□□□ コンピュータをシャットダウンし、AC アダプタをコンピュータから取り外して、次に AC アダプタをコンセントから取り外します。

□□□ コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを抜いた上で、コンピュータから外します。

□□□ コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。

□□□ PC カードをすべて取り外し、安全な場所に置いて乾燥させます。


□□□ バッテリーを取り外します。


□□□ バッテリーを拭いてから、安全な場所に置いて乾燥させます。

□□□ ハードドライブを取り外します。

□□□ [メモリモジュールを削除します](#)。

□□□ ディスプレイを開き、コンピュータの右側を上にした状態で 2 冊の本や、それに代わる支えになる物の上に置いて、コンピュータ周辺の空気を循環させます。室温で乾燥した場所にコンピュータを置き、24 時間以上乾燥させます。

 **注意:** 乾燥時間を短くするため、ヘアードライヤーまたはファンなどの人工的な手段は用いないでください。

 **警告:** 感電を防ぐため、コンピュータが完全に乾いていることを確認してから、次の手順に進んでください。

□□□□ コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。


□□□□ メモリモジュール、メモリモジュールカバー、およびネジを交換します。

□□□□ ハードドライブを取り付けます。

□□□□ 外付けのモジュールベイを接続して、取り外した PC カードを取り付けます。

□□□□ バッテリーを取り付けます。

□□□□ コンピュータの電源を入れて、コンピュータが正しく動作しているか確認します。

 **メモ**：保証の範囲については、コンピュータに付属している冊子をご覧ください。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合は、[デルにお問い合わせください](#)。

---

## コンピュータを落としたり損傷を与えたりした場合


□□□ 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。

□□□ コンピュータおよびコンセントから AC アダプタを取り外します。

□□□ コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを抜いた上で、コンピュータから外します。

□□□ バッテリーを取り外して、再度取り付けます。

□□□ コンピュータの電源を入れます。

 **メモ**：保証の範囲については、コンピュータに付属している冊子をご覧ください。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合は、[デルにお問い合わせください](#)。

---

## その他の技術的な問題の解決

デルサポートサイトにアクセスします — 一般的な使用法、手順、およびトラブルシューティングについての質問は、[support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) にアクセスします。ハードウェアとソフトウェアのサポートについての説明は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

E メールサポート — [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) にアクセスします。画面左側に表示される テクニカルサポートへのお問い合わせ 欄にある E メールサポート で、ご質問や不具合を デルのテクニカルサポートにお問い合わせください。画面左下にE-メールサポートのリンクが表示され、そこから技術的な質問や問い合わせを送信できます。ハードウェアとソフトウェアのサポートについての説明は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

デルに電話で問い合わせます — デルサポートサイト ([support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com))、または E-メールサポートで問題が解決できなかった場合、デルテクニカルサポートにお電話でお問い合わせください。ハードウェアとソフトウェアのサポートについての説明は、「[困ったときは](#)」を参照してください。

# Dell Diagnostics（診断）プログラムの使い方

- [Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合](#)
- [Dell Diagnostics（診断）プログラムの特徴](#)
- [Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動](#)

## Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータの主要コンポーネントやデバイスが正しく機能しない場合、コンポーネントが故障している可能性があります。Dell™ コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、「[問題の解決](#)」にあるチェック事項を実行し、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行すると、デルテクニカルサポートにお問い合わせにならなくても自分で問題を解決することができます。

コンピュータに関する詳しい知識をお持ちで、どのコンポーネントをテストする必要があるかわかりの場合は、該当する診断テストグループまたはサブテストを選択してください。どのように診断テストを始めたらいかがわからない場合、「[Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動](#)」を参照してください。

## Dell Diagnostics（診断）プログラムの特徴

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、専用装置を使用したり、データを破壊する心配もなく、コンピュータのハードウェアを調べることができます。診断プログラムを使用することで、お使いのコンピュータの動作がより確かなものになります。また、ご自身で解決できない問題の場合、診断テストの結果は、デルにお問い合わせになった際に、デルのサポート担当者に重要な情報を提供します。

- ➡ **注意:** Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ専用です。その他のコンピュータでこのプログラムを使用すると、コンピュータに間違った結果や、エラーメッセージが表示されることがあります。

また、診断テストグループやサブテストには、以下の特徴があります。

- 1 つまたはすべてのデバイスのエクスプレステスト、全体テスト、またはカスタムテストを実行できるオプション
- 起きている問題の症状に基づいたテストを選択できるオプション
- テストグループまたはサブテストを繰り返す回数を選択できるオプション
- テスト結果を表示する機能
- エラーが検出された場合にテストを一時的に中断するオプション、または最大エラー数に達したときにテストを終了するオプション
- テストとデバイスについて説明したオンライン Help 画面
- テストグループまたはサブテストが正常に終了したかどうかを知らせるステータスメッセージの表示
- 問題が検出された場合にエラーメッセージを表示

## Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブ上の非表示診断ユーティリティパーティションにあります。

- 📎 **メモ:** コンピュータに画面が表示されない場合は、[デルにお問い合わせください](#)。



□□□ コンピュータをシャットダウンします。




□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

□□□ コンピュータをコンセントに接続します。






**メモ：** ディスプレイに何も表示されない場合は、 の代わりに、ミュートボタンを押しながら電源ボタンを押すと Dell Diagnostics（診断）プログラムが開始します。**Diagnostics** をハイライト表示する必要はなく、 を押します。コンピュータは自動的に起動前システムアセスメントを実行します。

□□□ コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたらすぐに  を押します。ここで時間をおきすぎて Microsoft® Windows® のロゴが表示されてしまったら、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

□□□ 起動デバイスの一覧が表示される場合、**Diagnostics** をハイライト表示して、 を押します。

コンピュータが起動前システムアセスメントを実行し始め、内蔵された一連の診断プログラムが、システム基板、キーボード、ハードドライブ、およびディスプレイの初期テストを実行します。

- このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
- コンポーネントに障害が検出された場合、コンピュータは停止し、ビーブ音を発します。システムの評価を止め、オペレーティングシステムを再起動するには、 を押します。次のテストを続けるには、 を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、 を押します。
- 起動前システムアセスメント中に障害が検出された場合、エラーコードが表示されます。Dell Diagnostics（診断）プログラムを続ける前に、[デルにお問い合わせください](#)。
- 診断ユーティリティパーティションが検出されなかったというメッセージが表示される場合、『Drivers and Utilities CD』から画面に表示された手順に従って、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、 Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue. (Dell 診断ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。) というメッセージが表示されます。

□□□ いずれかのキーを押して、ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動します。

□□□ Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** 画面が表示されるので、適切なオプションのボタンをクリックします。



**メモ：** 各画面のタイトルバーには、コンピュータのサービスタグが表示されます。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10 ～ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に <b>Express Test</b> を実行すると、問題をさらにすばやく特定することができます。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom	問題の症状に基づいたテストを選択することができます。最も一般的な症状を一覧表示します。

Tree	
------	--

- テスト中に問題を検出すると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。エラーが解決できない場合、[デルにお問い合わせください](#)。
- **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、該当するタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。


タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	<p>選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。</p> <p>Dell Diagnostics（診断）プログラムは、<a href="#">セットアップユーティリティ</a>、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。</p>
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- テストが終了したら、画面を閉じて **Main Mnu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了してコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。


# 電力の管理

- [電力管理のヒント](#)
  - [電力の管理ウィザード](#)
  - [省電力モード](#)
  - [電源オプションのプロパティ](#)
- 

## 電力管理のヒント

 **メモ：** バッテリー電源の省電力の詳細に関しては、「[バッテリーの使い方](#)」を参照してください。


- バッテリーの寿命は、充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータを[スタンバイモード](#)または[休止状態モード](#)にしてください。
- 省電力モードを終了するには、電源ボタンを押します。

 **メモ：** 本項で説明している電力の管理オプションは、Microsoft® Windows® オペレーティングシステム向けのもので、電力の管理オプションは、インストールされているオペレーティングシステムによって異なります。


---

## 電力の管理ウィザード

 **メモ：** アクセス権が制限されている場合、電力の管理ウィザードは利用できません。

Dell™ QuickSet がインストールされている場合は、 アイコンをクリックまたはダブルクリックして、電力の管理ウィザードを開きます。

ウィザードの最初の 2 つの画面、ようこそ と 電源の管理の概要 では、さまざまな電力の管理オプションの説明と定義について紹介しています。

 **メモ：** 電源の管理の概要 画面で、今後はこのページを表示しない を選ぶことができます。このオプションを選ぶと、ようこそ 画面も表示されなくなります。

電力の管理ウィザードの以下の画面を使って、スリープモード、電源設定、バッテリーの低充電警告など、各種の電力の管理オプションを設定します。

## スリープモードを設定する

画面では、スタンバイモードと休止状態モードが定義されています。この画面から以下のことができます。


- スタンバイモードのパスワードオプションを設定します。
- 休止状態モードを有効または無効にします。
- ディスプレイを閉じたときのコンピュータのアクションを選択します。
  - アクションなしを選択します。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。

- 電源ボタンを押したときのコンピュータのアクションを選択します。
  - アクションなしを選択します。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
  - オペレーティングシステムをシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります（電源オフ）。
  - 画面上でユーザーに指示が出されます（必要な操作）。



- **Fn** **Esc Suspend** を押した時にコンピュータがどう反応するかを選択
  - アクションなしを選択します。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
  - オペレーティングシステムをシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります（電源オフ）。
  - 画面上でユーザーに指示が出されます（必要な操作）。

## 電源設定を選択する

 **メモ：** コンピュータがバッテリーで動作している場合、ネットワーク無効 電源設定は、ネットワークまたはワイヤレスアクティビティを有効または無効にします。コンピュータがコンセントまたはドッキングデバイスに接続されている場合、ネットワーク無効 電源設定は、ワイヤレスアクティビティのみ無効になります。ネットワーク無効 の機能を使うには、QuickSet (Microsoft® Windows® ではなく) の電源設定を利用する必要があります。


この画面で電源設定の選択、作成、および編集ができます。また、お客様が作成した電源設定を削除することはできますが、Dell™ QuickSet の既定の電源設定（最大バッテリー、最大パフォーマンス、プレゼンテーション、および ネットワーク無効）は削除できません。

 **メモ：** QuickSet は、QuickSet を使って作成した電源設定名の後に、自動的に（QuickSet）という単語を付け加えます。

すべての QuickSet 電源設定は、画面中央近くのドロップダウンメニューに表示されます。メニュー内の各電源設定は、メニューの下に表示されます。コンピュータがバッテリーで稼働している時の電源設定と、コンセントに接続されている時の電源設定は別々に表示されます。

電力の管理ウィザード を利用して、電源設定にディスプレイの輝度レベルを関連付けることができます。輝度レベルを設定するには、QuickSet を使って輝度レベル電源設定を有効にする必要があります。

ディスプレイの輝度、内蔵ネットワークカードアクティビティ、およびワイヤレスアクティビティの機能は、Microsoft® Windows® のコントロールパネル の電源設定からはご利用できません。これらの付加価値機能を使用するには、QuickSet 電源設定から設定する必要があります。

 **メモ：** 輝度のショートカットキーは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターには影響はありません。お使いのコンピュータが外付けモニターに接続してある場合に輝度レベルを変更しようとする、輝度メーターは表示されますが、モニターの輝度レベルは変更できません。


## バッテリーアラームとアクションを設定する

この画面から、バッテリー低下アラームとバッテリー切れアラームを有効にでき、また警告の設定を変更できます。たとえば、バッテリー低下アラームを 20 % に設定して、作業中のファイルを保存し、AC 電源に切り替えるよう促したり、バッテリー切れアラームを 10 % に設定して休止状態モードに入るようにできます。この画面から以下のことができます。

- アラームの通知方法として、音声とテキストメッセージのどちらかを選択します。
- アラーム通知を行う電源レベルを指定します。
- アラーム通知があったときのコンピュータのアクションを選択します。
  - アクションなしを選択します。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
  - Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。

## 電力の管理ウィザードを完了する


画面に、お使いのコンピュータの QuickSet 電源設定、スリープモード、およびバッテリー警告設定の概要が表示されます。選択した設定を確認して、完了 をクリックします。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、ヘルプ をクリックしてください。

## 省電力モード

### スタンバイモード

スタンバイモードは、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおく（タイムアウト）、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節電します。スタンバイモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。



 **注意:** スタンバイモードのときに AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイモードを起動するには、以下の手順を実行します。

- Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの場合、スタート ボタンをクリックして 終了オプション をクリックし、スタンバイ をクリックします。

Windows 2000 の場合、スタート ボタンをクリックして、シャットダウン をクリックします。次に スタンバイ をクリックして、OK をクリックします。

または

- 電源オプションのプロパティ ウィンドウの [詳細設定 \(または 詳細\) タブ](#)で、ご自分で設定した電力の管理オプションに従い、次の方法の一つを実行します。
  - 電源ボタンを押します。
  - ディスプレイを閉じます。
  -   を押します。

スタンバイモードから通常の動作状態に戻るには、[詳細設定 \(または 詳細\) タブ](#)のオプション設定に応じて電源ボタンを押すか、またはディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドやトラックスティックに触れてもコンピュータはスタンバイモードから復帰しません。

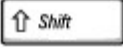
## 休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節電します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

- ➡ **注意:** お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、コンピュータからデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。



バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

手動で休止状態モードを起動するには、以下の手順を実行します。

- Windows XP の場合、スタート ボタンをクリックし、終了オプション をクリックして、 を押したまま 休止状態 をクリックします。

Windows 2000 の場合、[休止状態をサポートする](#)に設定されている場合は、スタート ボタンをクリックし、シャットダウン をクリックして、休止状態 をクリックします。次に、OK をクリックします。

または

- 電源オプションのプロパティ ウィンドウの[詳細設定 \(または 詳細\) タブ](#)で、ご自分で設定した電力の管理オプションに従い、次の方法の1つを実行し、休止状態モードを起動します。
  - 電源ボタンを押します。
  - ディスプレイを閉じます。
  -   を押します。

- 📌 **メモ:** PC カードによっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。[カードを取り外して取り付けなおす](#)か、コンピュータを再起動してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドやトラックスティックに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

## 電源オプションのプロパティ

電源オプションのプロパティ ウィンドウで、消費電力の管理およびバッテリーの充電状況を監視することができます。Microsoft® Windows® の 電源オプションのプロパティ ウィンドウを表示するには、次の手順を実行します。

- Windows XP で スタート ボタン® コントロールパネル® パフォーマンスとメンテナンス® 電源オプション とクリックします。
- Windows 2000 の場合、コントロールパネルを開いて 電源オプション アイコンをダブルクリックします。

## 電源設定タブ


電源設定 ドロップダウンメニューには次のような電源設定が表示されます。バッテリー電源を最大にするには、電源設定をデフォルトの ポータブル / ラップトップ のままにします。

Windows XP では、選択した電源設定に基づいてプロセッサのパフォーマンスレベルを制御します。パフォーマンスレベルの設定には、それ以外の調整は必要ありません。その他のオペレーティングシステムのプロセッサのパフォーマンスレベル設定に関する情報は、「[Intel](#)

[SpeedStep® テクノロジタブ](#)」を参照してください。

設定済みの電源設定には、コンピュータをスタンバイモードにする、ディスプレイの電源を切る、ハードドライブの電源を切る、といったそれぞれ異なるタイムアウト設定があります。電力の管理オプションの詳細については、[ヘルプとサポートセンター](#)（Windows 2000 の場合、Windows『ヘルプ』）を参照してください。

## アラームタブ

 **メモ：** アラームの音が聞こえるようにするには、アラームの動作 ボタンをクリックして、音で知らせる を選択します。

バッテリー低下アラーム と バッテリー切れアラーム 設定は、バッテリーの充電量が一定以下になったというメッセージを表示して警告します。コンピュータがお手元に届いたときには、バッテリー低下アラーム と バッテリー切れアラーム のチェックボックスが選択されています。これらの設定を変えずにお使いになることをお勧めします。バッテリー低下アラームの詳細については、「[バッテリーの使い方](#)」を参照してください。

## 電源メータータブ

電源メーター タブは現在の供給電源と、バッテリーの充電残量を表示します。

## 詳細設定タブ

詳細設定 タブでは次のことができます。


- 電源のアイコンとスタンバイモードパスワードオプションの設定
- （お使いのオペレーティングシステムに応じて）次の機能が設定できます。
  - 画面上でユーザーに指示が出されます（必要な操作）。
  - スタンバイモードにします。
  - 休止状態モードにします。
  - Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切る。
  - 何もしません（なし または 何もしない）。

これらの機能を設定するには、対応するドロップダウンメニューからオプションをクリックして、OK をクリックします。

## 休止状態タブ

休止状態 タブでは、休止状態を有効にする（または、休止状態をサポートする）チェックボックスをクリックすることで、休止状態モードを有効にします。

## Intel SpeedStep® テクノロジタブ

 **メモ：** Windows XP は、選択した電源設定によってプロセッサのパフォーマンスレベルを調節します。「[電源設定タブ](#)」を参照してください。

 **メモ：** Intel SpeedStep テクノロジを使用するには、Windows オペレーティングシステムを実行している必要があります。

お使いのオペレーティングシステムやマイクロプロセッサによっては、電源オプションのプロパティ ウィンドウに Intel SpeedStep® テクノロジ タブがあります。Intel SpeedStep テクノロジを使用すると、コンピュータがバッテリーまたは AC 電源のいずれかで動作している場合でも、マイクロプロセッサのパフォーマンスレベルを設定できます。お使いのオペレーティングシステムによって多少異なりますが、一般的

な設定は以下のとおりです。

- 自動 — コンピュータが AC 電源で動作している場合、プロセッサは最大速度で動作します（最大パフォーマンスモード）。コンピュータがバッテリー電源で動作している場合、プロセッサ速度は、バッテリー最適化モードになります。
- 最大パフォーマンス — コンピュータがバッテリーで動作している場合でも、プロセッサは最大パフォーマンスレベルに設定されます。
- バッテリーに合わせたパフォーマンス — コンピュータが電源コンセントに接続されている場合でも、プロセッサ速度は、バッテリー電源に最適化にされます。

追加の Intel SpeedStep オプションを変更するには、次の手順を実行します。

詳細 をクリックして次のいずれかのオプションをクリックします。

- **Intel SpeedStep technology** コントロールを無効にする
- タスクバーからアイコンを削除する
- パフォーマンスの変更時に音声通知を無効にする

OK をクリックして変更し、もう一度 OK をクリックして Intel SpeedStep® テクノロジ ウィンドウを閉じます。

通知領域にあるフラグアイコンを右クリックして、Intel SpeedStep 設定を変更することもできます。





# 部品の拡張および交換

- [メモリの増設](#)
- [モデムの追加](#)
- [キーボードの交換](#)
- [ミニ PCI カードの追加](#)
- [ハードドライブの交換](#)
- [Bluetooth™ モジュールの交換](#)

## メモリの増設

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、「[仕様](#)」を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

 **メモ:** デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

□□□ コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。


□□□ 開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してからコンピュータをシャットダウンします。

□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

□□□ コンピュータを電源コンセントから外します。

□□□ 10～20 秒待ったあと、接続されているすべてのデバイスを外します。

□□□ 取り付けられているすべての PC カード およびバッテリーを取り外します。

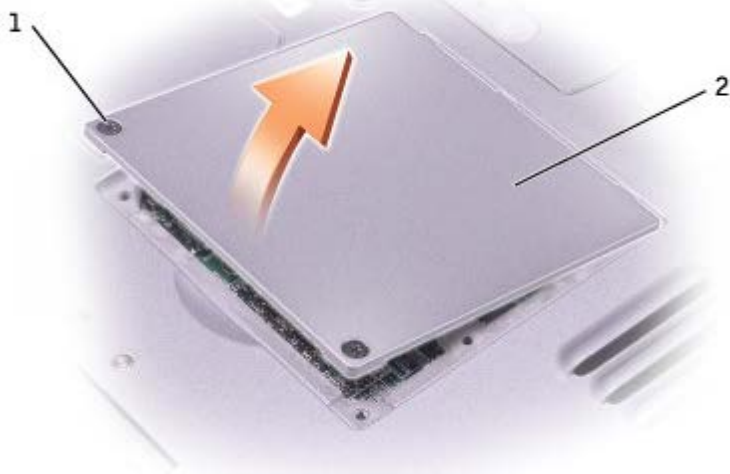
 **注意:** コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

□□□ 以下の適切な項を参照します。

- 「[メモリモジュール / モデムカバーの下へのメモリモジュールの取り付け](#)」
- 「[キーボードの下へのメモリモジュールの取り付け](#)」

## メモリモジュール / モデムカバーの下へのメモリモジュールの取り付け

□□□ コンピュータを裏返し、メモリーモジュール / モデムカバーの拘束ネジを緩め、カバーを取り外します。

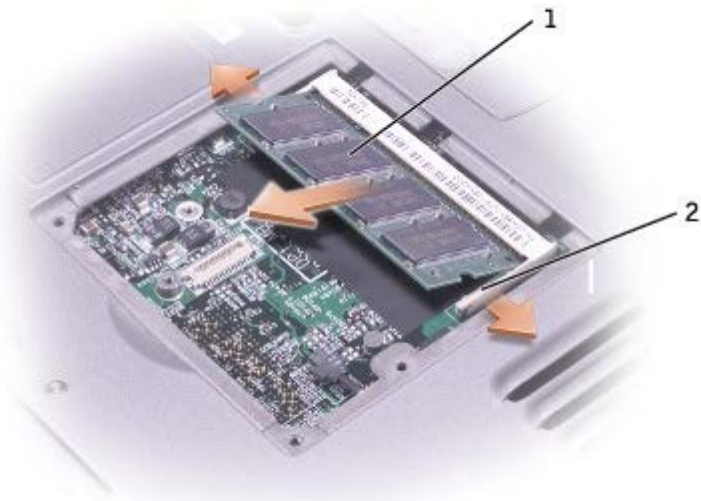


➡ **注意:** メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

□□□ メモリモジュールを交換する場合、既存のモジュールを削除します。

□□□ メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを、モジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

□□□ モジュールをコネクタから取り外します。




1	メモリモジュール
2	固定クリップ (2)

□□□ 身体の静電気を逃がしてから、新しいメモリモジュールを取り付けます。


□□□ モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットに合わせます。

□□□ モジュールを 45 度の角度でスロットに合わせてしっかりと押し込み、モジュールが所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が持てない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。

-  **メモ:** メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは起動しないことがあります。この場合、エラーメッセージは表示されません。



□□□ カバーを取り付けます。

-  **注意:** カバーが閉めにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

□□□ バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

□□□ コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

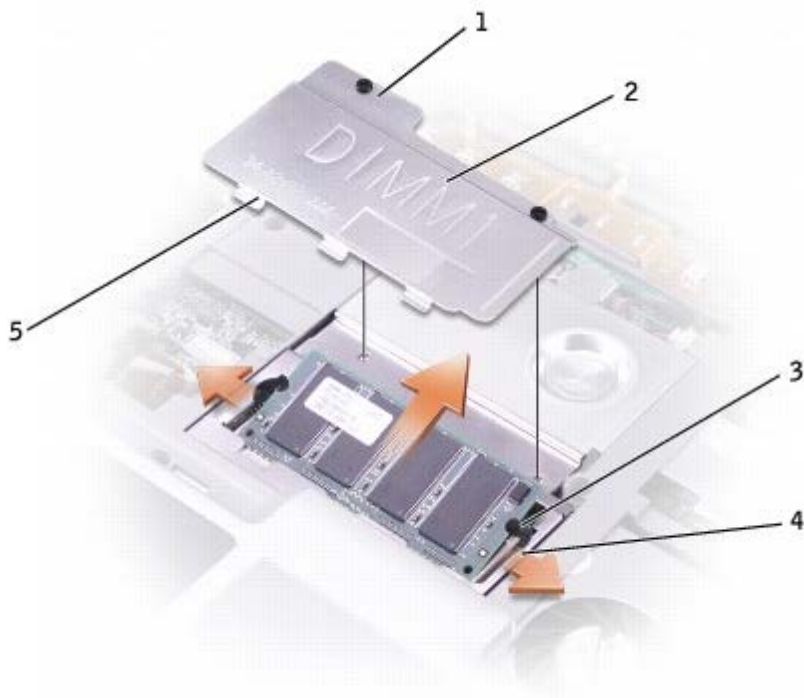
コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認します。

- Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの場合は、スタート ボタンをクリックし、ヘルプとサポート をクリックしてから コンピュータの情報 をクリックします。
- Windows 2000 では、デスクトップのマイコンピュータ アイコンを右クリックして、全般 タブをクリックします。

## キーボードの下へのメモリモジュールの取り付け

□□□ [キーボードを取り外します](#)。

□□□ 「DIMM1」と書かれているカバーの拘束ネジを緩めます。



1	固定ネジ (2)
2	DIMM1 カバー
3	メモリモジュール
4	固定クリップ (2)
5	固定タブ (3)

**注意:** メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

□□□ メモリモジュールを交換する場合、既存のモジュールを削除します。

□□□ メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを、モジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

□□□ モジュールをコネクタから取り外します。

□□□ 身体の静電気を逃がしてから、新しいメモリモジュールを取り付けます。

□□□ モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットに合わせます。

□□□ モジュールを 45 度の角度でスロットに合わせてしっかりと押し込み、モジュールが所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が持てない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。

**メモ:** メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは起動しないことがあります。この場合、エラーメッセージは表示されません。

□□□ DIMM1 カバーの 3 つの固定タブをメモリモジュールコネクタの上にある切り込みに挿入し、拘束ネジを締めます。

**注意:** DIMM1 カバーがうまく取り付けられない場合は、モジュールをいったん取り外し、取り付け直してください。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

□□□ [キーボードを交換します。](#)

□□□ バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

□□□ コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。


コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認します。


- Windows XP では、スタート ボタンをクリックし、ヘルプとサポート をクリックして コンピュータの情報 をクリックします。
- Windows 2000 では、デスクトップの マイコンピュータ アイコンを右クリックして、全般 タブをクリックします。

---

## モデムの追加

コンピュータの注文時にオプションのモデムも注文された場合、出荷時にモデムが取り付けられています。

 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

 **注意:** コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。

□□□ コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。


□□□ 開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してからコンピュータをシャットダウンします。

□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

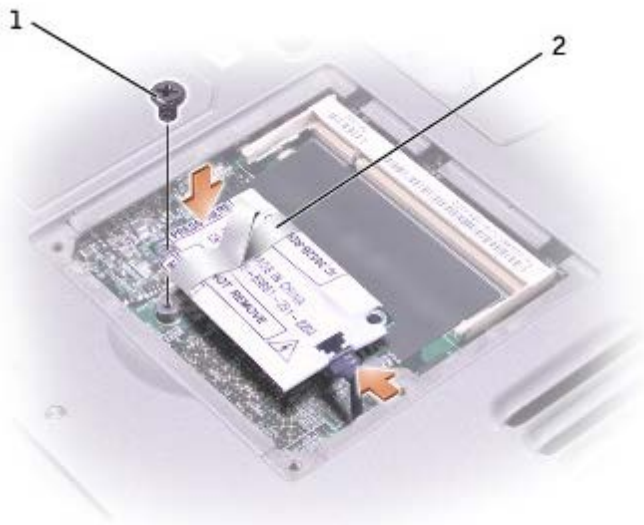
□□□ コンピュータを電源コンセントから外します。

□□□ 10～20 秒待ったあと、接続されているすべてのデバイスを外します。

□□□ 取り付けられているすべての PC カード およびバッテリーを取り外します。

 **注意:** コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

□□□ コンピュータを裏返し、メモリーモジュール / モデムカバーの拘束ネジを緩め、カバーを取り外します。



□□□ モデムがまだ取り付けられていない場合は、[手順9](#)に進みます。モデムを交換する場合、既存のモデムを取り外します。

□□□ モデムをシステム基板に固定しているネジを外して、横に置きます。

□□□ 取り付けられているプルタブをまっすぐ持ち上げ、モデムをシステム基板上的コネクタから引き上げて、モデムケーブルを切断します。

□□□ モデムケーブルをモデムに取り付けます。

➡ **注意:** ケーブルコネクタは正しく挿入できるよう設計されています。無理に接続しないでください。

□□□□ モデムをネジ穴に合わせ、システム基板のコネクタに押し込みます。

□□□□ ネジを取り付けて、モデムをシステム基板に固定します。

□□□□ モデムカバーを取り付けます。

---

## キーボードの交換

⚠ **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

□□□ コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。

□□□ 開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してからコンピュータをシャットダウンします。

□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

□□□ コンピュータを電源コンセントから外します。

□□□ 10～20 秒待ったあと、接続されているすべてのデバイスを外します。

□□□ 取り付けられているすべての PC カード およびバッテリーを取り外します。

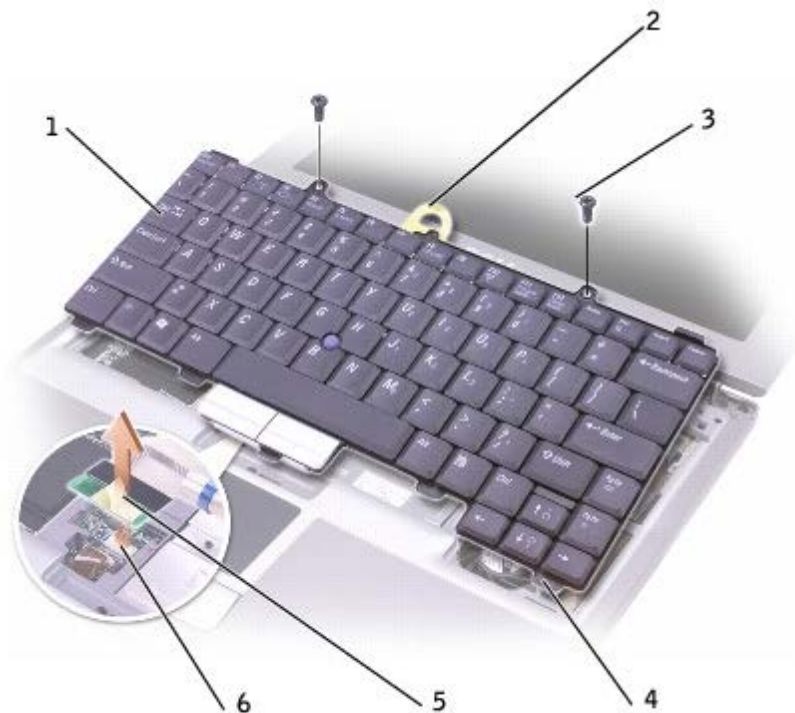
➡ **注意:** コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

□□□ ディスプレイを約 180 度まで開きます。

□□□ 小型のマイナスドライバまたはプラスチック製スクライブを使用して、センターコントロールカバーの切り込みのある右端を持ち上げ、ボトムケースからカバーを外します。

□□□ キーボードの上部にある 2 本のネジを取り外します。

□□□□ プルタブを使ってキーボードを（ディスプレイの方向に）引き上げ、ボトムケースから取り外します。



1	キーボード
2	キーボードプルタブ
3	ネジ (2)
4	固定タブ (5)
5	キーボードコネクタプルタブ
6	インタフェースコネクタ (システム基板)

□□□□ キーボードの表面を下にしてパームレストに置きます。

□□□□ キーボードコネクタに取り付けられたプルタブをまっすぐ上に引き上げて、システム基板のインタフェースコネクタからキーボードコネクタを取り外します。

キーボードを交換するには、以下の手順を実行します。

□□□ キーボードコネクタをシステム基板のインタフェースコネクタに接続します。

□□□ キーボードの 5 つの固定タブを、パームレストのそれぞれのスロットにはめ込みます。


□□□ キーボード上部の 2 本のネジを元どおりに取り付けます。

□□□ センターコントロールカバーを元の位置に戻し、パームレストと同一平面になるようにはめ込みます。


---


## ミニ PCI カードの追加

お使いのコンピュータで使用するミニ PCI カードを注文された場合は、カードはすでに取りつけられています。

 **警告:** FCC 規則により、ユーザーが 5 GHz 帯 (802.11a、802.11a/b、802.11a/b/g) ワイヤレス LAN ミニ PCI カードを取り付けることが固く禁止されています。いかなる状態でも、ユーザーはこのようなデバイスを取り付けてはなりません。訓練を受けたデルサービス担当員のみが、ワイヤレス LAN ミニ PCI カードの取り付けを承認されています。

2.4-GHz (802.11b, 802.11b/g) ミニ PCI カードの取り付けや取り外しを行う場合、下記の手順に従ってください。ノートブックコンピュータでの使用を承認された製品のみを取り付けできます。承認されたミニ PCI カードはデルでもご購入いただけます。

 **メモ:** 2.4 GHz 帯 ワイヤレス LAN PC カードは、ユーザーが取り外しおよび取り付け作業を行うことができます。

 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

□□□ コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。


□□□ 開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してからコンピュータをシャットダウンします。

□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続 (ドッキング) されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

□□□ コンピュータを電源コンセントから外します。

□□□ 10~20 秒待ったあと、接続されているすべてのデバイスを外します。

□□□ 取り付けられているすべての PC カード およびバッテリーを取り外します。

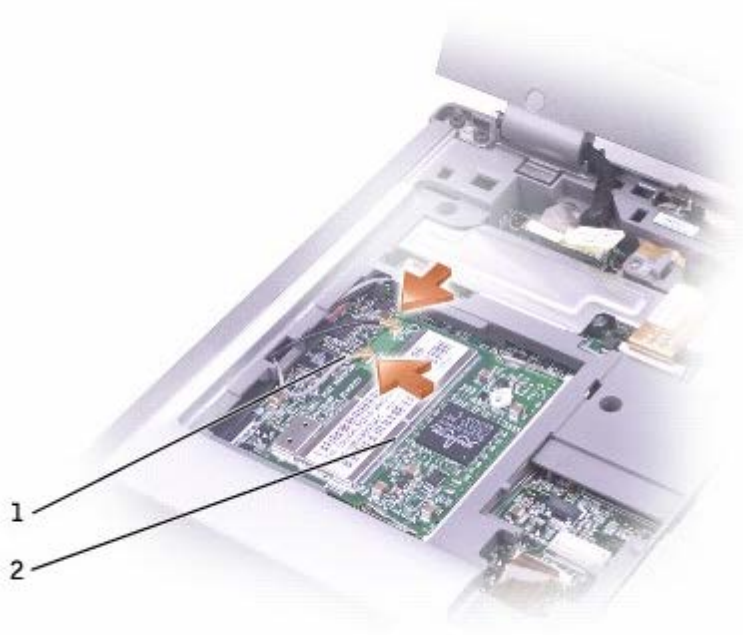
 **注意:** コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

□□□ [キーボードを取り外します。](#)

□□□ まだミニ PCI カードが取り付けられていない場合は、[手順 9](#)に進みます。ミニ PCI カードを交換する場合、既存のカードを取り外します。

□□□ ミニ PCI カードに取り付けられているすべてのケーブルを外します。

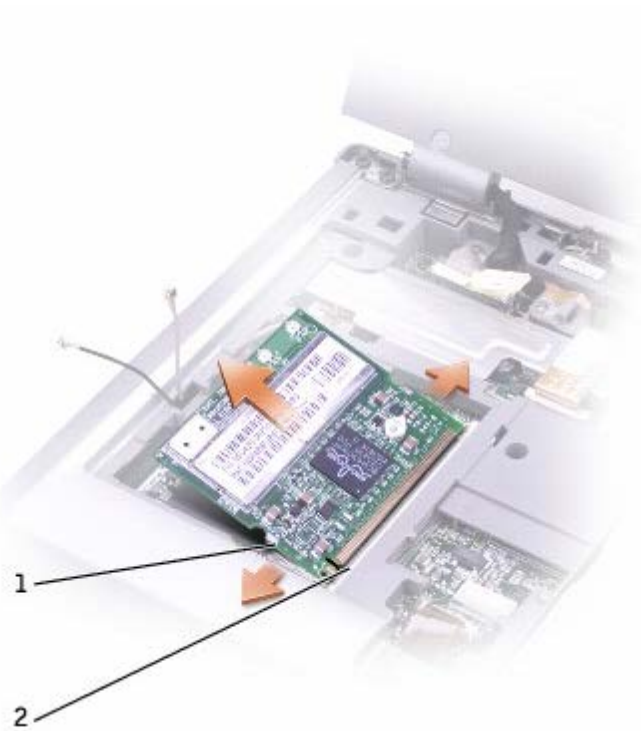




1	アンテナケーブル (2)
2	ミニ PCI カード

□□□ ミニ PCI カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製の固定タブを広げます。

□□□ ミニ PCI カードをコネクタから持ち上げます。



1	固定タブ (2)
---	----------

- ➡ **注意:** ミニ PCI カードの損傷を防ぐため、ケーブルは絶対にカードの上下に置かないでください。
- ➡ **注意:** コネクタは確実に挿入できるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。
- ✍ **メモ:** ミニ PCI カードが取り付けられていなかった場合は、カードを取り付ける前に、アンテナケーブル保護用のエアクッションを取り外してください。

□□□ ミニ PCI カードとコネクタの角度が 45 度になるように合わせて、カチッと収まる感触がするまで押し込みます。

□□□□ アンテナケーブルをミニ PCI カードに接続します。

□□□□ [キーボードを交換します。](#)

---

## ハードドライブの交換

- ⚠ **警告:** ドライブが熱を持っているときにコンピュータからハードドライブを取り外す場合は、ハードドライブの金属製ハウジングに触れないでください。
- ⚠ **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。
- ➡ **注意:** データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。
- ➡ **注意:** ハードドライブはとても壊れやすく、わずかな衝撃でも破損することがあります。
- ✍ **メモ:** デルではデル製以外のハードドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供は行っておりません。

ハードドライブベイのハードドライブを交換するには、次の手順を実行します。

□□□ コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。

□□□ 開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してからコンピュータをシャットダウンします。

□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

□□□ コンピュータを電源コンセントから外します。

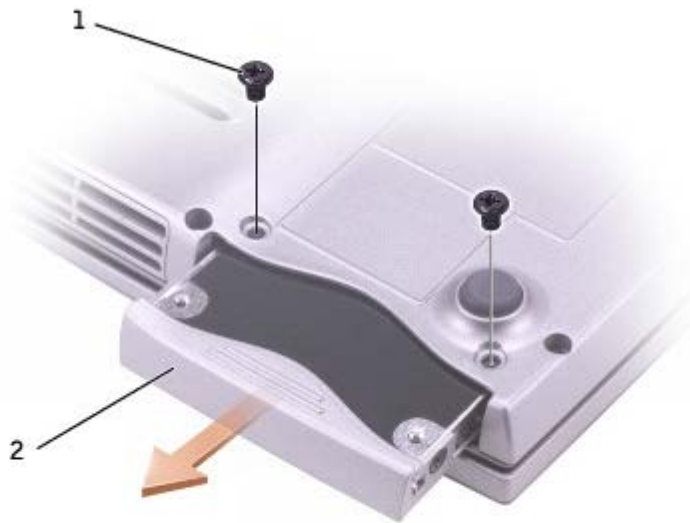
□□□ 10～20 秒待ったあと、接続されているすべてのデバイスを外します。

□□□ 取り付けられているすべての PC カード およびバッテリーを取り外します。

- ➡ **注意:** コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

□□□ コンピュータを裏返し、ハードドライブのネジを外します。

- ➡ **注意:** ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『システム情報ガイド』の「静電気放出への対処」を参照してください。



□□□ ハードドライブをコンピュータから引き出します。

□□□ 新しいドライブを梱包から取り出します。

ハードドライブを保管するためや持ち運ぶために、梱包を保管しておいてください。

➡ **注意:** ドライブを挿入する際は、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。

□□□□ ハードドライブが完全にベイに収まるまでスライドします。

□□□□ ネジを締めます。

□□□□ 『オペレーティングシステムCD』を使用して、コンピュータで使用するオペレーティングシステムをインストールします。

□□□□ 『Drivers and Utilities CD』を使用して、コンピュータで使用するドライバおよびユーティリティをインストールします。

## Bluetooth™ モジュールの交換

⚠ **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

□□□ コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。

□□□ 開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してからコンピュータをシャットダウンします。

□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

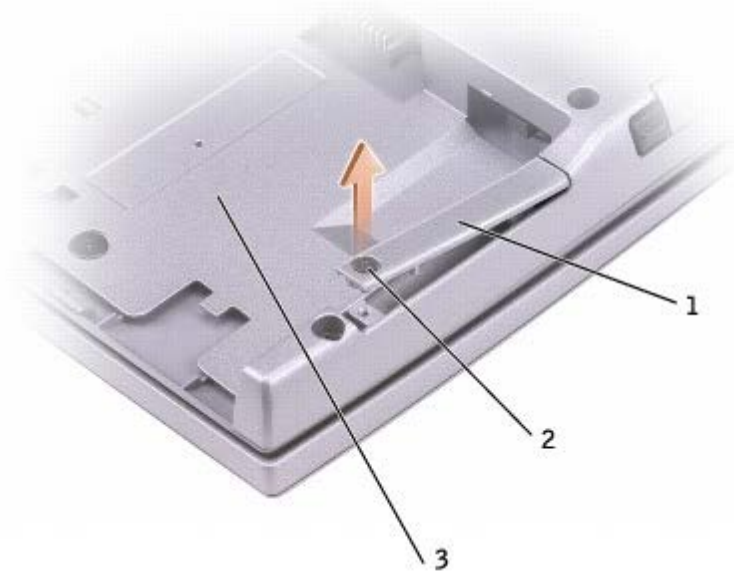
□□□ コンピュータを電源コンセントから外します。

□□□ 10～20 秒待ったあと、接続されているすべてのデバイスを外します。

□□□ 取り付けられているすべての PC カード およびバッテリーを取り外します。

➡ **注意:** コンポーネントおよびカードは端を持ち、ピンまたは接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を逃がします。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を逃がしてください。

□□□ コンピュータを裏返し、Bluetooth モジュールカバーの拘束ネジを緩めてカバーを取り外します。

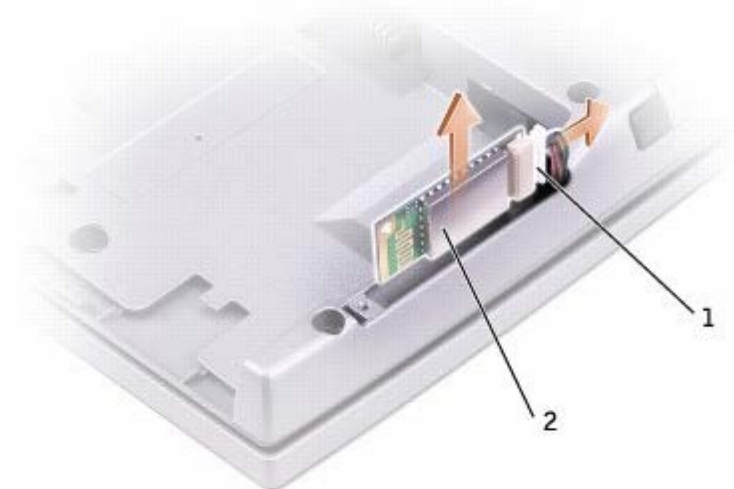


1	Bluetooth モジュールカバー
2	拘束ネジ
3	バッテリーベイ

□□□ 既存のモジュールの取り外し

□□□ Bluetooth モジュールをスロットから引き出します。

□□□ ケーブルをモジュールから外します。



1	Bluetooth ケーブル
2	Bluetooth モジュール (正面)

---

□□□ Bluetooth モジュール（シルバー）の正面が外側に向き、ケーブルがモジュールに接続されているか確認します。

□□□□ モジュールをスロットに挿入します。


□□□□ カバーを取り付けて、拘束ネジを締めます。

# PC カードの使い方

- [PC カードについて](#)
  - [PC カードのダミーカード](#)
  - [拡張型 PC カード](#)
  - [PC カードの取り付け](#)
  - [PC カードまたはダミーカードの取り外し](#)
- 

## PC カードについて

サポートされている PC カードについては、「[仕様](#)」を参照してください。

 **メモ:** PC カードは、起動デバイスではありません。

PC カードスロットには、タイプ I またはタイプ II カード 1 枚に対応するコネクタが 1 つあります。PC カードスロットは、CardBus テクノロジーおよび拡張型 PC カードをサポートしています。PC カードの「タイプ」とは厚みによる分類で、機能とは関係ありません。

---

## PC カードのダミーカード

お使いのコンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに PC カードを取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ダミーカードの取り外しについては、「[PC カードまたはダミーカードの取り外し](#)」を参照してください。


---

## 拡張型 PC カード

拡張型 PC カード（たとえば、ワイヤレスネットワークアダプタ）は標準の PC カードより長く、コンピュータの外側にはみ出しています。拡張型 PC カードを使用する場合、次の注意事項に従ってください。

- 取り付けたカードのはみ出した部分を保護します。カードの端をぶつけると、システム基板が損傷する恐れがあります。
  - コンピュータをキャリーケースに入れる場合、必ず拡張型 PC カードを取り外してください。
- 

## PC カードの取り付け

 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

コンピュータの動作中に、PC カードを取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、PC カードは、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれています。カードは一方方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

PC カードを取り付けるには、次の手順を実行します。

□□□ 挿入方向を示す矢印をスロットに向け、カード上面を上にして持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入します。


□□□ PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。



カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードが傾いていないかを確認して再度試してみてください。



コンピュータはほとんどの PC カードを認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、PC カードに付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

## PC カードまたはダミーカードの取り外し

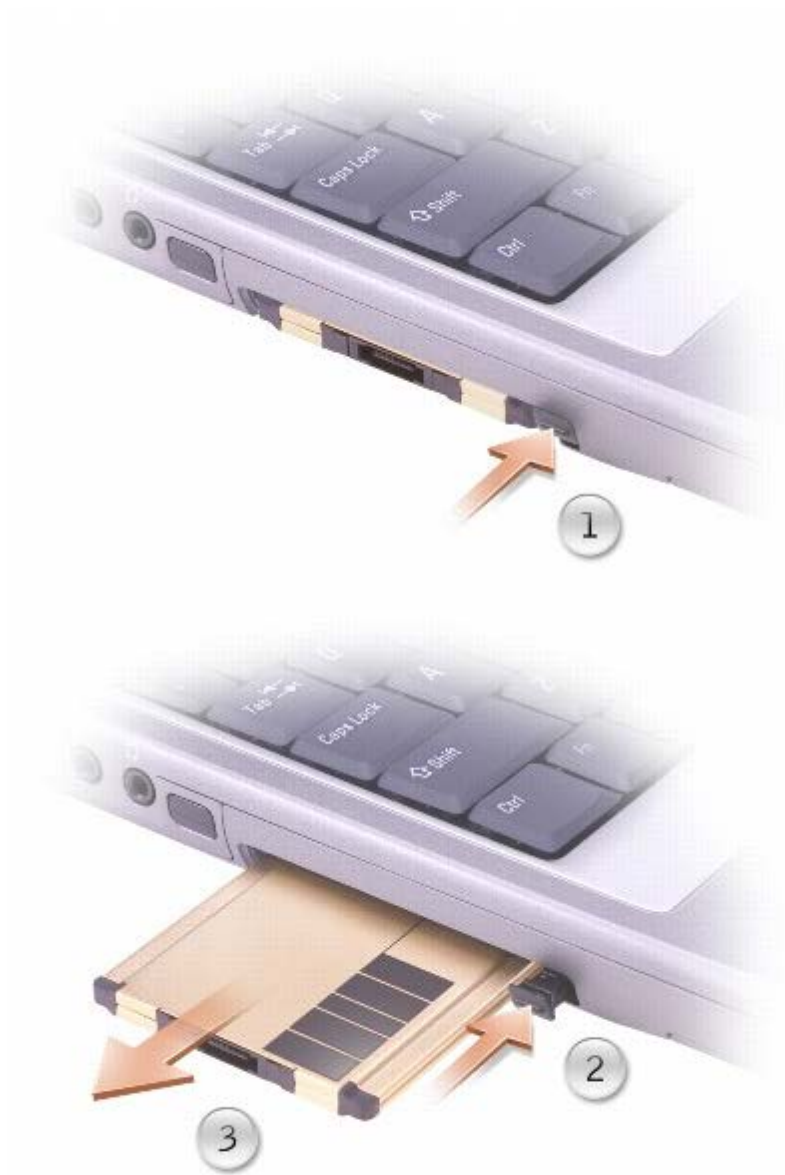
 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

 **注意:** カードを選択してその動作を停止するには、コンピュータから PC カードを取り外す前に、タスクバーの PC カード設定ユーティリティ  を使用します。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。ケーブルが付いている場合、カードを取り外す際にケーブルそのものを引っぱってカードを取り外さないでください。

□□□ 取り出しボタンを押します。

□□□ もう一度取り出しボタンを押します。

□□□ 慎重にカードを取り外します。




スロットに PC カードを取り付けない場合に使用するダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。



# セットアップユーティリティの使い方

- [概要](#)
- [セットアップユーティリティ画面の表示](#)
- [セットアップユーティリティ画面](#)
- [よく使用されるオプション](#)

## 概要

 **メモ:** セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。External Hot Key オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効、または無効に設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細については、Microsoft® Windows® 『ヘルプ』 (Windows 2000) または [Windows ヘルプとサポートセンター](#) (Windows XP) を参照してください。


以下のような場合に、セットアップユーティリティを使用します。

- ユーザーが選択可能な機能 (たとえば、コンピュータのパスワード) を設定または変更する場合
- システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。


セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブのパスワード設定

 **注意:** 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

## セットアップユーティリティ画面の表示

□□□ コンピュータの電源を入れます (または再起動します)。

□□□ DELL™ のロゴが表示されたらすぐに  を押します。Dell ロゴの表示と、キーを押すタイミングが合わず Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

## セットアップユーティリティ画面

各画面で、セットアップユーティリティのオプションは左側に表示されます。各オプションの右側には、オプションの設定またはオプションの数値が表示されています。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変

更できないオプションまたは値は、青いテキストで表示されます。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示されています。画面の右下角には、コンピュータのシステム情報が表示されています。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

## よく使用されるオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

## 起動順序の変更



起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。




 **メモ**： 起動順序を一回だけ変更するには、「[一回きりの起動の実行](#)」を参照してください。

**Boot Order** ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの一般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- Diskette Drive
- Internal HDD
- CD/DVD/CD-RW drive

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、 または  キーを押して、デバイスを選択（ハイライト表示）して、デバイスを有効または無効にしたり、リスト内の順序を変更することができます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示し、 を押します。有効なアイテムは白く表示され、左側に小さな三角形が表示されます。無効なアイテムは青色または暗く表示され、三角形は付いていません。
- リスト内のデバイスの順序を変更するには、デバイスをハイライト表示して、 または  を押して（大文字と小文字は区別されません）ハイライト表示されたデバイスを上下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。


## 一回きりの起動の実行

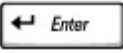
セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

□□□ コンピュータの電源を切ります。

□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

□□□ コンピュータをコンセントに接続します。

□□□ コンピュータの電源を入れます。DELL ロゴが表示されたら、すぐに  を押します。Dell ロゴの表示と、キーを押すタイミングが合わず Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

□□□ 起動デバイスの一覧が表示された場合、起動したいデバイスをハイライト表示して、 を押します。

コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。


## COM ポートの変更

**Serial Port** を使って、シリアルポートの COM アドレスをマップしたり、シリアルポートとアドレスを無効にできます。コンピュータのリソースが空きますので、別のデバイスが使用できるようになります。


## 赤外線センサーの有効化

□□□ セットアップユーティリティを起動します。

□□□ コンピュータの電源を入れます。

□□□ DELL™ のロゴが表示されたら  を押します。

□□□ **Basic Device Configuration** にある **Infrared Data Port** が表示されるまで、  を押します。

 **メモ：** シリアルコネクタに割り当てられた COM ポートと異なる COM ポート を選択していることを確認します。

□□□ 下矢印キーを押して **Infrared Data Port** 設定を選択し、右矢印キーを押して COM ポートの設定を変更します。

□□□  を押して **Save changes and reboot** を選択し、 を押して変更内容を保存し、セットアップユーティリティを終了します。コンピュータを再起動するように指示されたら、**Yes** をクリックします。

□□□ 画面の指示に従います。

□□□ 赤外線センサーを有効にした後、**Yes** をクリックして、コンピュータを再起動します。

赤外線センサーを有効にすると、赤外線デバイスとの通信を確立することができます。赤外線デバイスをセットアップして使用するには、赤外線デバイスに付属しているマニュアルおよび [Windows ヘルプとサポートセンター](#) (Windows 2000 の場合は Windows 『ヘルプ』) を参照してください。

# Microsoft® Windows® XP の使い方

- [ヘルプとサポートセンター](#)
- [クラシック表示への切り替え](#)
- [デスクトップクリーンアップウィザード](#)
- [新しいコンピュータへの情報の転送](#)
- [ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え](#)
- [家庭用および企業用ネットワークのセットアップ](#)
- [インターネット接続ファイアウォール](#)



メモ： Windows XP Home Edition と Windows XP Professional では、機能とデザインが異なります。また、Windows XP Professional で利用できるオプションは、コンピュータがドメインに接続されているかによっても異なります。

## ヘルプとサポートセンター

ヘルプとサポートセンターでは Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムのヘルプが提供されており、その他のサポートツールや教育ツールも用意されています。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、スタート ボタンをクリックして、ヘルプとサポート をクリックします。

## クラシック表示への切り替え

コントロールパネル、スタート メニュー、および Microsoft® Windows® デスクトップの表示を、従来の Windows オペレーティングシステムのクラシック表示に変更することができます。

## コントロールパネル

コントロールパネルの情報はタスク指向型カテゴリとして表示されています。今までのアイコンを使ってコントロールパネルで特定のタスクを実行する方が慣れている場合は、アイコンを使ったクラシック表示に切り替えることができます。

□□□ スタート ボタンをクリックして コントロールパネル をクリックします。

□□□ コントロールパネル ウィンドウの左上にある クラシック表示に切り替える、または カテゴリ表示に切り替える をクリックします。

## スタートメニュー

□□□ タスクバーの何も無い部分を右クリックします。

□□□ プロパティ をクリックして [スタート] メニュー タブをクリックします。

□□□ クラシック [スタート] メニュー をクリックして OK をクリックします。

## ウィンドウとボタンのデザイン

□□□ メインデスクトップ画面上で右クリックして、プロパティ をクリックします。

□□□ デザイン タブをクリックします。

□□□ ウィンドウとボタン ドロップダウンメニューで、Windows クラシックスタイル をクリックします。

□□□ 色、フォント、および他のクラシックデスクトップオプションをカスタマイズするには、**詳細設定** をクリックします。

□□□ デザインの選択が終了したら、**OK** をクリックします。

---

## デスクトップクリーンアップウィザード

デフォルトでは、デスクトップクリーンアップウィザードは、コンピュータを最初に起動してから 7 日後に（その後は 60 日おきに）、あまり使用されないアイコンをデスクトップから指定したフォルダに移動します。デスクトップアイコンが移動すると、スタートメニューの外観が変わります。

デスクトップクリーンアップウィザードを終了するには、次の手順を実行します。

□□□ デスクトップ上の何も無い場所を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。

□□□ デスクトップ タブをクリックして、**デスクトップのカスタマイズ** をクリックします。

□□□ **60 日ごと**にデスクトップクリーンアップウィザードを実行する をクリックして、**チェックマーク**を外します。

□□□ **OK** をクリックします。

デスクトップクリーンアップウィザードを実行するには（いつでも実行できます）、次の手順を実行します。

□□□ デスクトップ上の何も無い場所を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。

□□□ デスクトップ タブをクリックして、**デスクトップのカスタマイズ** をクリックします。

□□□ **デスクトップをクリーンアップする** をクリックします。

□□□ デスクトップクリーンアップウィザード 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。

□□□ デスクトップ上にアイコンを残しておく場合は、**アイコン名**をクリックして**チェックマーク**を外し、**次へ** をクリックします。

□□□ **完了** をクリックしてショートカットを削除し、**ウィンドウ**を閉じます。

---

## 新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP のオペレーティングシステムでは、ソースコンピュータから新しいコンピュータにデータを転送するためのファイルと設定の転送ウィザードを提供しています。下記のデータが転送できます。

- 電子メール
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワークまたはシリアル接続を介してデータを転送したり、書き込み可能 CD、またはフロッピーディスクなどのリムーバブルメディアにデータを保存したりできます。

新しいコンピュータに情報を転送するには...

スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム® アクセサリ® システムツール とポイントして、ファイルと設定の転送ウィザードをクリックします。

ファイルと設定の転送ウィザードの開始 画面が表示されたら、次へ をクリックします。

これはどちらのコンピュータですか? 画面で 転送先の新しいコンピュータ をクリックし、次へ をクリックします。

Windows XP CD がありますか? 画面で Windows XP CD からウィザードを使います をクリックし、次へ をクリックします。

今、古いコンピュータに行ってください 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、次へ をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには...

古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。

Microsoft Windows XP 画面で、追加のタスクを実行する をクリックします。

実行する操作の選択 で ファイルと設定を転送する をクリックします。

ファイルと設定の転送ウィザードの開始 画面で、次へ をクリックします。

これはどちらのコンピュータですか? 画面で 転送先の古いコンピュータ をクリックし、次へ をクリックします。

転送方法を選択してください 画面で希望の転送方法をクリックします。

何を転送しますか? 画面で転送する項目を選択し、次へ をクリックします。

情報がコピーされた後、ファイルと設定の収集フェーズを処理しています... 画面が表示されます。

完了 をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには...

新しいコンピュータの 今、古いコンピュータに行ってください 画面で、次へ をクリックします。

ファイルと設定はどこにありますか? 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、次へ をクリックします。

ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

設定とファイルがすべて適用されると、収集フェーズを処理しています... 画面が表示されます。

完了 をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

---

## ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え

### ユーザーアカウントの追加

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムがインストールされると、コンピュータ管理者または管理者権限を持つユーザーは、追加するユーザーアカウントを作成することができます。

スタート ボタンをクリックして コントロールパネルをクリックします。

コントロールパネル ウィンドウで、ユーザーアカウント をクリックします。

作業を選びます で、新しいアカウントを作成する をクリックします。


□□□ 新しいアカウントに名前を付けます で、新しいユーザーの名前を入力して、次へ をクリックします。

□□□ アカウントの種類を選びます で、以下の項目の 1 つをクリックします。

- コンピュータの管理者 — すべてのコンピュータ設定を変更することができます。
- 制限 — ご自分のパスワードなど、個人的な設定のみを変更することができます。プログラムをインストールしたりインターネットを使用することはできません。

□□□ アカウントの作成 をクリックします。

## ユーザーの簡易切り替え

 **メモ：** ユーザーの簡易切り替えは、コンピュータで Windows XP Professional が動作していて、コンピュータがコンピュータドメインのメンバーである場合、またはコンピュータに搭載されているメモリが 128 MB 未満の場合は無効になります。

ユーザーの簡易切り替えにより、先に使用していたユーザーがログオフしなくても、複数のユーザーが 1 台のコンピュータにアクセスできます。

□□□ スタート ボタンをクリックして、ログオフ をクリックします。

□□□ Windows のログオフ ウィンドウで、ユーザーの切り替え をクリックします。


ユーザーの簡易切り替えを使用する場合、前のユーザーが実行していたプログラムはバックグラウンドで使用され続けるため、コンピュータの動作が遅く感じられることがあります。また、ゲームや DVD ソフトウェアなどのマルチメディアプログラムは、ユーザーの簡易切り替えでは動作しないことがあります。詳細については、[Windows ヘルプとサポートセンター](#)を参照してください。

## 家庭用および企業用 ネットワークのセットアップ


### ネットワークアダプタへの接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、有効なネットワークケーブルが接続されている必要があります。

ネットワークケーブルを接続するには...

 **メモ：** ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルの接続を確認します。

□□□ ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

 **メモ：** ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。

□□□ 有効なネットワークケーブルの一端を、壁のネットワークジャックなどのネットワーク接続デバイスに接続します。

### ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP 家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

□□□ スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム® アクセサリ® 通信 とポイントしてから、ネットワークセットアップウィザードをクリックします。

□□□ ネットワークセットアップウィザードの開始 の画面で、次へ をクリックします。

□□□ ネットワーク作成のチェックリスト をクリックします。



**メモ：** インターネットに直接接続している という接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

□□□ チェックリストの項目を完了し、必要な準備を行います。

□□□ ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面に表示される指示に従います。

---

## インターネット接続ファイアウォール

インターネット接続ファイアウォールでは、インターネット接続時に、許可されていないユーザーのコンピュータへのアクセスに対する基本的な保護が提供されます。ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。ネットワーク接続にファイアウォールが有効になると、コントロールパネルの ネットワーク接続 に赤い背景のあるファイアウォールアイコンが表示されず。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしても、ウイルス対策ソフトウェアは必要です。


詳細に関しては、[ヘルプとサポートセンター](#)を参照してください。



# バッテリーの使い方


- [バッテリーの性能](#)
- [バッテリーの充電チェック](#)
- [バッテリーの充電](#)
- [バッテリーの取り外し](#)
- [バッテリーの取り付け](#)
- [バッテリーの保管](#)

## バッテリーの性能

 **メモ:** ノートブックコンピュータ用のバッテリーは、コンピュータの保証期間の最初の 1 年間に限り保証されます。お使いのコンピュータのデル品質保証の詳細に関しては、『システム情報ガイド』またはコンピュータに付属の冊子をご覧ください。


コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータをご使用の際は、常にメインバッテリーを取り付けてください。コンピュータがコンセントに接続されていない場合に、バッテリーを使用してコンピュータに電力を供給します。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。


バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。


 **メモ:** CD に書き込みをしている際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

- オプティカルドライブ、特に DVD ドライブおよび CD-RW ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、PC カード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用している場合
- [最大パフォーマンスモード](#)で、コンピュータを実行している場合


コンピュータに**バッテリーを挿入する**前に、[バッテリーの充電チェック](#)ができます。[バッテリーの充電量が少なくなると](#)、警告を発するように電力の管理オプションを設定することもできます。

 **警告:** 適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。リチウムイオンバッテリーは、Dell™ コンピュータ専用です。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

 **警告:** バッテリーを家庭用のごみと一緒に廃棄しないでください。不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（電話 0 4 4 - 5 5 6 - 3 4 8 1）へお問い合わせください。

 **警告:** バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、あるいは温度が 65 °C を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりさせる恐れがあります。


## バッテリーの充電チェック

Microsoft® Windows® 電源メーターウィンドウと  アイコン、バッテリー充電ゲージと機能ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

## Dell QuickSet バッテリメーター




[Dell QuickSet](#) がインストールされている場合は、  を押して QuickSet バッテリメーターを表示します。


バッテリメーター 画面は、お使いのコンピュータの現在の状況、充電レベル、および充電完了時間を表示します。

 **メモ：** お使いのドッキングデバイスを使って、コンピュータのバッテリーを充電することができます。ただし、ドッキングデバイスのバッテリーが、ドッキングデバイスまたはコンピュータに電力を供給するわけではありません。


また、コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、バッテリメーター 画面には、充電レベルおよびドッキングデバイスバッテリーの現在の状況を表示する バッテリのドッキング タブが含まれます。


バッテリメーター 画面には、以下のアイコンが表示されます。

	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピュータまたはドッキングデバイスが、バッテリー電源で動作している</li><li>バッテリーが切れているまたはアイドル状態</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している</li><li>バッテリーの充電中</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している</li><li>バッテリーが切れている、アイドル状態、または充電中</li></ul>

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、ヘルプ をクリックしてください。

## Microsoft Windows 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの  アイコンをダブルクリックします。電源メーター タブの詳細に関しては、「[電力の管理](#)」を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

## 充電ゲージ

バッテリーの充電ゲージにあるボタンを押すと、充電レベルインジケータライトが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。



## 機能ゲージ

バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーは充電機能またはバッテリー機能を失います。バッテリー機能を確認するには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押します。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 % 以下になっていますので、バッテリーを交換した方が良いかもしれません。バッテリーの動作時間の詳細については、「[仕様](#)」を参照してください。

## バッテリーの低下を知らせる警告

- ➡ **注意:** データの損失およびデータ破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続するか、またはモジュールベイにセカンドバッテリーを取り付けます。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的にスタンバイモードに入ります。

ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの充電残量の約 90 % を消費した時点で発せられます。バッテリーの充電低下を知らせる警告の詳細に関しては、「[電力の管理](#)」を参照してください。

## バッテリーの充電

- 📌 **メモ:** コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリーはコンピュータに取り付けたままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路が過剰充電を防ぎます。

コンピュータをコンセントに接続していたり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に熱を持ったり、高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

- 🔌 のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合は、バッテリーの温度が高すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

バッテリーの問題の解決の詳細については、「[電源の問題](#)」を参照してください。

## バッテリーの取り外し

**⚠ 警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

**⚠ 警告:** まずモデムを壁の電話プラグから取り外して、この項の作業を行ってください。

**🔄 注意:** コンピュータがスタンバイモードに入っている状態でバッテリーを交換する場合、90 秒以内に交換を完了してください。90 秒経つと、コンピュータがシャットダウンして、保存していないデータはすべて失われます。

□□□ コンピュータの電源が切っているか、省電力モードのサスペンドモードに入っているか、またはコンセントに接続されているか確認します。

□□□ コンピュータがドッキングデバイスに接続（ドッキング）されている場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

□□□ コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドしたまま、ベイからバッテリーを取り外します。



---

## バッテリーの取り付け

**⚠ 警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

リリースラッチがカチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをベイにスライドします。

---

## バッテリーの保管


長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全に[バッテリーを再充電](#)してください。

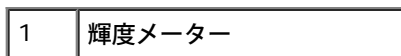
# ディスプレイの使い方

- [輝度の調整](#)
- [画面モードの操作](#)
- [画面解像度の設定](#)

## 輝度の調整

Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、該当する画面の[キーボードショートカット](#)を使って、輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。


[Dell QuickSet](#) がインストールされている場合は、QuickSet の輝度メーターに、画面の現在の輝度設定が表示されます。タスクバーにある  アイコンを右クリックして、画面上の 輝度メーター を有効または無効にします。



- **メモ：** デフォルトで、輝度メーター は画面の右下角に表示されます。メーターをクリックしたままドラッグして新しい場所に移動できます。それ以降、メーターは新しい場所に常に表示されます。
- **メモ：** 輝度のショートカットキーは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターには影響はありません。お使いのコンピュータが外付けモニターに接続してある場合に輝度レベルを変更しようとする、輝度メーターは表示されますが、モニターの輝度レベルは変更できません。



QuickSet のタスクバーメニューから 輝度メーター を有効または無効にできます。メーターが有効の場合、以下のキーを押して輝度を調節します。

- 内蔵ディスプレイの輝度を上げるには、  を押します（外付けモニターには適用されません）。
- 内蔵ディスプレイの輝度を下げるには、  を押します（外付けモニターには適用されません）。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、ヘルプ をクリックしてください。

## 画面モードの操作


外付けデバイス（外付けモニターまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、ディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

  を押して画面モードの表示をディスプレイのみ、外付けデバイスのみ、またはディスプレイと外付けデバイスの同時表示に切り替えます。

## 画面解像度の設定

特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオコントローラとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要な[ビデオドライバがインストールされていないと表示されません](#)。

デフォルトのディスプレイ設定を変更する前に、あとで参照できるようその設定を控えておいてください。

 **メモ:** プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されています。

ディスプレイのサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、選択した設定に最も近いものに自動的に調節されません。

## Microsoft® Windows® XP

□□□ スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。

□□□ 作業する分野を選びます で、デスクトップの表示とテーマ をクリックします。

□□□ 作業を選びます で、変更したい項目をクリックします。または コントロールパネルを選んで実行します で 画面 をクリックします。


□□□ 画面の色 および 画面の解像度 で別の設定にしてみます。

## Windows 2000


□□□ スタート ボタンをクリックして 設定 をポイントし、コントロールパネル をクリックします。

□□□ 画面 アイコンをダブルクリックして、設定 タブをクリックします。

□□□ 色 および 画面の領域 で別の設定にしてみます。

 **メモ:** 解像度を上げると、画面上でより小さくアイコンやテキストが表示されます。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータは**パンモード**に入ります。パンモードでは、画面が完全に表示されないことがあります。たとえば、通常デスクトップの下に表示されているタスクバーが見えないことがあります。画面の見えない部分を表示するには、タッチパッドまたはトラックスティックを使用して、パンを上下左右に動かします。

 **注意:** リフレッシュレートをサポートしていない外付けモニターを使用すると、モニターに損傷を与える恐れがあります。外付けモニターのリフレッシュレートを調整する前に、モニターのユーザーズガイドを参照してください。


# キーボードとタッチパッドの使い方






- [テンキーパッド](#)
- [キーボードショートカット](#)
- [タッチパッド](#)
- [トラックスティックキャップの取り替え](#)

## テンキーパッド




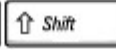



テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーは、複数の機能があります。



キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、 を押しながら必要なキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、  を押します。 のライトが点灯して、キーパッドが有効であることを示します。
- キーパッドを無効にするには、もう一度   を押します。



## キーボードショートカット

### システム機能



  	タスクマネージャ ウィンドウを開きます。
 	テンキーパッドを有効または無効にします。

 	Scroll Lock 機能を有効または無効にします。
--	-----------------------------







## バッテリー

 	<a href="#">Dell™ QuickSet バッテリメーター</a> を表示します (QuickSet がインストールされている場合)
--	--



## CD または DVD トレイ

 	トレイをドライブから取り出します ( <a href="#">Dell QuickSet</a> がインストールされている場合)
--	--



## ディスプレイ関連

 	画面モードの表示を次の画面オプションに切り替えます。このオプションには、内蔵ディスプレイ、外付けモニタ、内蔵ディスプレイと外付けモニタの両方が含まれています。
 	内蔵ディスプレイの輝度を上げます (外付けモニタには適用されません)。
 	内蔵ディスプレイの輝度を下げます (外付けモニタには適用されません)。





## 無線通信 (ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth™ を含む)

 	ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth (いずれもオプション) を含む、無線通信を有効または無効にします。
--	--

## 電力の管理

 	省電力モードを起動します。電源オプションのプロパティ ウィンドウの <a href="#">詳細設定 (または 詳細) タブ</a> を使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。
--	---




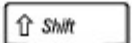












## スピーカー関連

 	内蔵スピーカーと外付けスピーカー (接続されている場合) の音量を上げます。
 	内蔵スピーカーと外付けスピーカー (接続されている場合) の音量を下げます。
	内蔵スピーカーと外付けスピーカー (接続されている場合) を有効または無効にします。





## Microsoft® Windows® ログキー操作

 	すべてのウィンドウを最小化します。
  	すべてのウィンドウを最大化します。
 	Windows エクスプローラを開きます。
 	ファイル名を指定して実行 ダイアログボックスが開きます。
 	検索結果 ダイアログボックスが開きます。
  	検索結果—コンピュータ ダイアログボックスを開きます（ネットワークに接続している場合）。
 	システムのプロパティ ダイアログボックスが開きます。

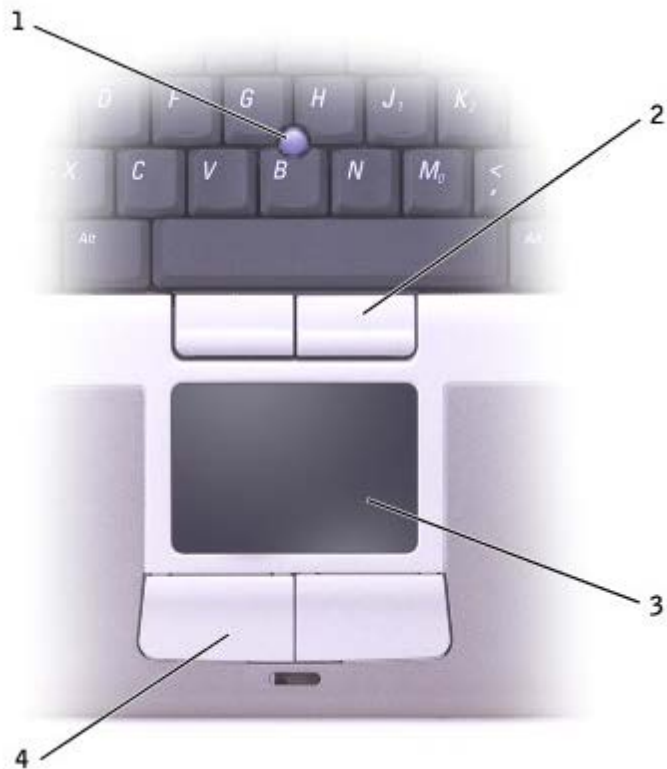
文字入力の表示間隔などのキーボードの動作を調整するには、以下の手順を実行します。

- Windows XP の場合、コントロールパネルを開いて プリンタとその他のハードウェア をクリックし、キーボード をクリックします。
- Windows 2000 の場合、コントロールパネルを開いて キーボード アイコンをダブルクリックします。

---

## タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



1	トラックスティック
2	トラックスティックボタン
3	タッチパッド
4	タッチパッドボタン

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドします。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

トラックスティックを使ってカーソルを移動することもできます。トラックスティックを上下左右に押して、ディスプレイ上のカーソルの向きを変更します。マウスの機能と同じように、トラックスティックとトラックスティックボタンを使用します。

## タッチパッドおよびトラックスティックのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドおよびトラックスティックを無効にしたり、設定を調節したりすることができます。

□□□ Windows XP の場合、コントロールパネルを開いて プリンタとその他のハードウェア をクリックし、マウス をクリックします。

Windows 2000 の場合は、コントロールパネルを開いて マウス アイコンをダブルクリックします。

□□□ マウスのプロパティ ウィンドウで、以下の手順を実行します。

デバイスの選択 タブをクリックして、タッチパッドおよびトラックスティックを無効にします。

- ポインタ タブをクリックして、タッチパッドおよびトラックスティックの設定を調節します。

□□□ OK をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

---

## トラックスティックキャップの取り替え

トラックスティックキャップが長期の使用で磨耗した場合またはキャップを違う色にしたい場合、取り替えることができます。お使いのコンピュータには、予備のトラックスティックキャップが付属しています。



□□□ トラックスティックからキャップを取り外します。

□□□ 新しいキャップを四角いトラックスティック軸に合わせ、慎重に軸にかぶせます。

➡ **注意:** トラックスティックが適切に支柱に装着されていない場合、トラックスティックがディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

□□□ トラックスティックを動かして、キャップが正しく装着されているか確認します。

# ソフトウェアの再インストール

- [ドライバおよびユーティリティの再インストール](#)
- [ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決](#)
- [Microsoft® Windows® システムの復元の使い方](#)
- [Microsoft® Windows® XP の再インストール](#)
- [Windows 2000 の再インストール](#)

## ドライバおよびユーティリティの再インストール

お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがあらかじめインストールされているので、新たにインストールしたり設定する必要はありません。

- ➡ **注意:** 『Drivers and Utilities CD』には、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも収録されている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに適切なものであることを確認してください。

ワイヤレス通信および DVD ドライブなどオプションのデバイスのドライバを再インストールするには、これらのデバイスに付属している CD およびマニュアルが必要になる場合があります。

- ➡ **注意:** デルサポートサイト ([support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com)) および 『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールすると、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

『Drivers and Utilities CD』からドライバやユーティリティを再インストールするには、次の手順を実行します。

□□□ 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

□□□ 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

ほとんどの場合、CD は自動的に実行されます。実行されない場合は Microsoft® Windows® エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD を初めて使用する場合、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。OK をクリックして、画面に従って続行します。

□□□ ツールバーの 言語 ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティの希望の言語（利用可能な場合）を選択します。

「Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます」画面が表示されます。

□□□ 次へ をクリックします。CD は自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバおよびユーティリティを検出します。

CD がハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。検索基準 で、システムモデル、オペレーティングシステム および トピック のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

□□□ 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。

□□□ インストール ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

インストール ボタンが表示されない場合、自動インストールは選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または 解凍 をクリックして展開手順に従い、readme ファイルを参照してください。

ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで CD のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

## Windows XP のドライバの手動再インストール



**メモ：** 赤外線センサードライバを再インストールする場合、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから、ドライバのインストールを続行します。

- 前項で説明されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍し、スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ を右クリックします。
- プロパティ をクリックします。
- ハードウェア タブをクリックして、デバイスマネージャ をクリックします。
- インストールするドライバのデバイスの種類をダブルクリックします（たとえば、モデム または 赤外線デバイス）。
- ドライバをインストールするデバイスの名前をダブルクリックします。
- ドライバ タブをクリックして、ドライバの更新 をクリックします。
- 一覧または特定の場所からインストールできる（詳細） を選んでから、次へ をクリックします。
- 参照 をクリックして、あらかじめドライバファイルを解凍していた場所を指定します。
- 該当するドライバの名前が表示されたら、次へ をクリックします。
- 完了 をクリックして、コンピュータを再起動します。

## Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにデバイスドライバをインストールした後に、システムが不安定になった場合、Windows XP デバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。ドライバのロールバックで以前のドライバを再インストールできない場合、[システムの復元](#)を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。デバイスドライバのロールバックを使うには、次の手順を実行します。

- スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ を右クリックします。
- プロパティ をクリックします。
- ハードウェア タブをクリックして、デバイスマネージャ をクリックします。
- デバイスマネージャ ウィンドウで、新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、プロパティ をクリックします。
- ドライバ タブをクリックします。
- ドライバのロールバック をクリックします。

## Windows 2000 用のドライバの手動再インストール



**メモ：** 赤外線センサードライバを再インストールする場合、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから、ドライバのインストールを続行します。

- 前項で説明されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍し、スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。
- システム アイコンをダブルクリックします。

□□□ ハードウェア タブをクリックします。

□□□ デバイスマネージャ をクリックします。

□□□ インストールするドライバのデバイスの種類をダブルクリックします（たとえば、モデム または 赤外線デバイス）。

□□□ デバイスの名前をダブルクリックします。

□□□ ドライバ タブをクリックして、ドライバの更新 をクリックします。

□□□ 次へ をクリックします。

□□□ デバイスに最適なドライバを検索する（推奨） が選択されていることを確認してから、次へ をクリックします。

□□□□ 場所を指定 チェックボックスにチェックマークを付け、その他のすべてのチェックボックスのチェックを外してから、次へ をクリックします。

□□□□ 参照 をクリックして、あらかじめドライバファイルを解凍していた場所を指定します。

□□□□ 該当するドライバの名前が表示されたら、次へ をクリックします。

□□□□ 完了 をクリックして、コンピュータを再起動します。

---

## ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の問題解決

Microsoft® Windows® XP および Windows 2000 オペレーティングシステムでは、オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違っていて設定されている場合、IRQ コンフリクトが発生しています。コンピュータの IRQ コンフリクトを調べるには、お使いのオペレーティングシステムに該当する以下の項を参照してください。

### Windows XP

□□□ スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。

□□□ パフォーマンスとメンテナンス をクリックして、システム をクリックします。

□□□ ハードウェア タブをクリックして、デバイスマネージャ をクリックします。

□□□ デバイスマネージャ 一覧で、その他のデバイスとのコンフリクトをチェックします。

コンフリクトの起こっているデバイスの横には、黄色の感嘆符 (!) が付いているので、コンフリクトが確認できます。赤色の X 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

□□□ コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、プロパティ ウィンドウを開きます。そして、デバイスマネージャ から再設定または削除する必要があるものを指定します。

□□□ 特定のデバイスを調べる前に、これらのコンフリクトを解消します。

□□□ デバイスマネージャ 一覧で、誤動作しているデバイスの種類をダブルクリックします。

□□□ 一覧を展開し、特定のデバイスのアイコンをダブルクリックします。

プロパティ ウィンドウが表示されます。

IRQ コンフリクトが起こっている場合、プロパティ ウィンドウの デバイスの状態 領域に、どのデバイスがそのデバイスの IRQ を共有しているかが表示されます。

□□□ IRQ コンフリクトを解消します。

## Windows 2000

□□□ スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。

□□□ システム アイコンをダブルクリックします。

□□□ ハードウェア タブをクリックします。

□□□ デバイスマネージャ をクリックします。

□□□ 表示 をクリックして、リソース (接続別) をクリックします。

□□□ 割り込み要求 (IRQ) をダブルクリックして、IRQ の割り当てを表示します。

コンフリクトの起こっているデバイスの横には、黄色の感嘆符 (!) が付いているので、コンフリクトが確認できます。赤色の X 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

□□□ コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、プロパティ ウィンドウを開きます。そして、デバイスマネージャ から再設定または削除する必要があるものを指定します。特定のデバイスを調べる前に、これらのコンフリクトを解消します。

□□□ デバイスマネージャ 一覧で、誤動作しているデバイスの種類をダブルクリックします。

□□□ 一覧を展開し、特定のデバイスのアイコンをダブルクリックします。

プロパティ ウィンドウが表示されます。

IRQ コンフリクトが起こっている場合、プロパティ ウィンドウの デバイスの状態 領域に、どのデバイスがそのデバイスの IRQ を共有しているかが表示されます。

□□□□ IRQ コンフリクトを解消します。

Windows 2000 のハードウェアに関するトラブルシューティングを使用することもできます。トラブルシューティングを使用するには、スタート ボタンをクリックして、ヘルプ をクリックします。目次 タブのトラブルシューティングと保守 をクリックし、Windows 2000 に関するトラブルシューティング をクリックしてから、ハードウェア をクリックします。ハードウェアに関するトラブルシューティング 一覧で、コンピュータにあるハードウェアの競合を解決する必要があります をクリックして、次へ をクリックします。

## Microsoft ® Windows ® システムの復元の使い方

コンピュータのハードウェア、ソフトウェア (新しいハードウェアの取り付けまたはプログラムのインストールを含む)、またはシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまう場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元機能を使用してコンピュータを以前の動作状態に復元することができます。また、最後のシステムの復元を元に戻すこともできます。

システムの復元は、自動的にシステムのチェックポイントを作成します。復元ポイントを作成して、独自のチェックポイントを手動で作成することもできます。使用するハードディスクの容量を制限するため、古い復元ポイントは自動的に削除されます。

オペレーティングシステムの問題を解決するには、セーフモードまたは通常モードからシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に戻すことができます。

システムの復元では、コンピュータを前の動作状態に復元した後でも、マイドキュメント フォルダに保存されている個人ファイル、データファイル、または E メールメッセージが失われることはありません。プログラムをインストールする前の動作状態にコンピュータを復元する場合、プログラムのデータファイルは失われませんが、そのプログラムを再インストールする必要があります。



**注意:** データファイルのバックアップを定期的には作成することは重要です。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。ハードディスクにある元のデータを誤って消去したり、上書きした場合、またはハードディスクの故障により元のデータにアクセスできなくなった場合は、失われたデータや損傷したデータの復元にバックアップファイルを使用してください。

新しいコンピュータでは、システムの復元は有効に設定されています。ただし、空き容量が 200 MB 以下のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元を使用する前に、システムの復元が有効になっているか確認します。

□□□ スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル をクリックします。

□□□ パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。

□□□ システム をクリックします。

□□□ システムの復元 タブをクリックします。

□□□ すべてのドライブでシステムの復元を無効にする にチェックマークが付いていないことを確認します。

## 復元ポイントの作成

システムの復元ウィザードを使うか、手動で復元ポイントを作成します。

### システムの復元ウィザードの使い方

システムの復元ウィザードを使用するには、スタート ボタンをクリックし、ヘルプとサポート をクリックして システムの復元 をクリックします。次に システムの復元ウィザード ウィンドウの指示に従います。コンピュータの管理者または管理者権限を持つユーザーとしてログオンする場合、復元ポイントを作成して名前を付けることができます。

### 手動での復元ポイントの作成

□□□ スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム® アクセサリ® システムツール とポイントしてから システムの復元 をクリックします。

□□□ 復元ポイントの作成 をクリックします。

□□□ 次へ をクリックします。

□□□ 復元ポイントの説明 フィールドに新しい復元ポイントの名前を入力します。

現在の日付と時刻が新しい復元ポイントの説明に自動的に追加されます。

□□□ 作成 をクリックします。

□□□ OK をクリックします。

## コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバをインストール後に問題が発生した場合、まず [デバイスドライバのロールバック](#) を使用してみます。デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用します。



**注意:** コンピュータを前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

□□□ スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム® アクセサリ® システムツール とポイントしてから システムの復元 をクリックします。

□□□ コンピュータを以前の状態に復元する が選択されていることを確認してから、次へ をクリックします。



□□□ コンピュータを以前の状態に復元する時点の日付をクリックします。

復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントを確認して選択できるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

□□□ 復元ポイントを選んで、次へ をクリックします。

カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。複数の復元ポイントがある場合、使用したい復元ポイントをクリックします。

➡ **注意:** 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

□□□ 次へ をクリックします。

システムの復元がデータの収集を完了したら、復元は完了しました 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

□□□ コンピュータが再起動したら OK をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

## 最後のシステムの復元を元に戻す

➡ **注意:** 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

□□□ スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム® アクセサリ® システムツール とポイントしてから システムの復元 をクリックします。

□□□ 以前の復元を取り消す を選んで、次へ をクリックします。

➡ **注意:** 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

□□□ 次へ をクリックします。

システムの復元 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

□□□ コンピュータが再起動したら OK をクリックします。

---

## Microsoft® Windows® XP の再インストール

### 再インストールする前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、Windows XP の [デバイスドライバのロールバック](#) を試してみます。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、[システムの復元](#) を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。


### Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項にあるすべての手順を記載されている順番に実行します。


再インストール処理を完了するには、1～2時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、ウイルス保護プログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

- ➡ **注意:** 『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストール用のオプションを提供しています。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP は再インストールしないでください。
- ➡ **注意:** Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。





## オペレーティングシステム CD からの起動

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。自動的にプログラムが起動する場合、次の手順に進む前にプログラムを終了します。
- スタートメニューからコンピュータをシャットダウンして、コンピュータを再起動します。
- DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに  を押します。


オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ってから、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

- 矢印キーを使って CD-ROM を選び、 を押します。
- 画面に、Press any key to boot from CD というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

## Windows XP のセットアップ

- セットアップの開始画面が表示されたら、 を押して続行します。
- Microsoft Windows ライセンス契約 画面の内容を読み、キーボードの  を押して、使用許諾契約書に同意します。
- お使いのコンピュータに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合、r と入力して修復オプションを選び、CD をドライブから取り出します。
- 新たに Windows XP をインストールする場合は、 を押してオプションを選択します。
-  を押して、ハイライトされたパーティション（推奨）を選び、画面の指示に従います。

Windows XP セットアップ画面が表示され、Windows XP は、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータは自動的に再起動します。

-  **メモ:** ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップに要する時間は変わります。
- ➡ **注意:** 次のメッセージが表示される場合、キーは押さないでください。Press any key to boot from the CD

- 地域と言語のオプション画面が表示されたら、地域の設定を必要に応じてカスタマイズして、次へ をクリックします。
- ソフトウェアの個人用設定画面で、お名前と会社名（オプション）を入力して、次へ をクリックします。

□□□ Windows XP Home Edition を再インストールする場合、コンピュータ名は何ですか? ウィンドウが表示されたら、コンピュータ名を入力 (または記載の名前を承認) して、次へ をクリックします。

Windows XP Professional を再インストールする場合、コンピュータ名と **Administrator** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名 (または記載の名前を承認) およびパスワードを入力して、次へ をクリックします。

□□□ モデムが取り付けられている場合、モデムのダイヤル情報 画面が表示されたら、必要な情報を入力して、次へ をクリックします。

□□□□ 日付と時間の設定 ウィンドウに、日付、時間、タイムゾーンを入力して、次へ をクリックします。

□□□□ ネットワークの設定 画面が表示される場合、標準 をクリックして、次へ をクリックします。

□□□□ Windows XP Professional を再インストールしている場合、ドメイン名やワークグループ名などのネットワーク設定に関するネットワーク情報が求められることがあります。該当するものを選びます。設定がわからない場合、デフォルトの選択肢を選んでください。

Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールし、コンピュータを設定します。コンピュータが自動的に再起動されます。

➡ **注意:** 次のメッセージが表示される場合、キーは押さないでください。Press any key to boot from the CD.

□□□□ **Microsoft Windows** へようこそ 画面が表示されたら、次へ をクリックします。

□□□□ インターネットに接続する方法を指定してください というメッセージが表示されたら、省略 をクリックします。

□□□□ **Microsoft** にユーザー登録する準備は出来ましたか? 画面が表示されたら、いいえ、今回はユーザー登録しません を選択し、次へ をクリックします。

□□□□ このコンピュータを使うユーザーを指定してください 画面が表示されたら、最大 5 人のユーザーを入力できます。次へ をクリックします。

□□□□ 完了 をクリックしてセットアップを完了し、CD をドライブから取り出します。

## ドライバおよびソフトウェアの再インストール

□□□ [適切なドライバを再インストールします。](#)

□□□ アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

□□□ その他のソフトウェアプログラムを再インストールします。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

---

## Windows 2000 の再インストール


➡ **注意:** 『オペレーティングシステム CD』は、Windows 2000 オペレーティングシステムの再インストール用オプションを提供しています。『オペレーティングシステム CD』は、デルでプリインストールしているファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者が指示しない限りオペレーティングシステムを再インストールをしないようにしてください。

### 『オペレーティングシステム CD』からの起動

□□□ 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

□□□ 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。自動的にプログラムが起動する場合、次の手順に進む前にプログラムを終了します。

□□□ スタート メニューからコンピュータをシャットダウンして、コンピュータを再起動します。


□□□ DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに  を押します。

オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ってから、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

□□□ 矢印キーを使って CD-ROM を選び、 を押します。


□□□ 画面に、Press any key to boot from CD というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

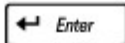
## Windows 2000 セットアップ

□□□ Windows 2000 セットアップ ウィンドウが表示されたら、Windows 2000 のセットアップを開始するには ENTER キーを押してください がハイライト表示されているか確認します。 を押します。

□□□ ライセンス契約 ウィンドウの内容を読み、 を押して続行します。

□□□ Windows 2000 Professional セットアップ 画面が表示されたら、矢印キーを使って Windows 2000 パーティションオプションを選択します。選択したパーティションでいずれかのキーを押します。

□□□ Windows 2000 Professional セットアップ ウィンドウが再度表示されたら、矢印キーを使って、Windows 2000 で使用するファイルシステムを選択して、 キーを押します。

□□□ 再度  を押して、コンピュータを再起動します。

□□□ Windows 2000 セットアップウィザードの開始 ウィンドウが表示されたら、次へ をクリックします。

□□□ 地域 ウィンドウが表示されたら、地域を選び、次へ をクリックします。

□□□ ソフトウェアの個人用設定 ウィンドウで、お名前と会社名を入力してから、次へ をクリックします。

□□□ Windows Product Key (プロダクトキー) の入力画面が表示されたら、コンピュータにある Microsoft ラベルの Product Key (プロダクトキー) を入力します。次に、次へ をクリックします。

□□□□ コンピュータ名と Administrator のパスワード ウィンドウが表示されます。コンピュータ名とパスワードの設定を希望する場合には、それらを入力し、次へ をクリックします。

□□□□ 日付と時間の設定 ウィンドウに、日付と時間を入力して、次へ をクリックします。

Windows 2000 がコンポーネントのインストールとコンピュータの設定を開始します。

□□□□ Windows 2000 セットアップウィザードの完了 ウィンドウが表示されたら、ドライブから CD を取り出して、完了 をクリックします。

コンピュータが自動的に再起動されます。

## 休止状態モードを有効にする

□□□ スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。

□□□ 電源オプション アイコンをダブルクリックします。

□□□ 休止状態 タブをクリックします。

□□□ 休止状態をサポートする が選択されていることを確認して、適用 をクリックします。

□□□ **OK** をクリックして、コントローパネルを閉じます。

# Dell™ D/Bay の使い方

- [Dell D/Bay について](#)
  - [コンピュータの電源を切っている場合のデバイスの取り外しと取り付け](#)
  - [コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け](#)
  - [CD または DVD トレイの使い方](#)
- 

## Dell D/Bay について

フロッピードライブやオプティカルドライブなどの Dell Latitude™ D シリーズデバイスを取り付けることができます。

---

## コンピュータの電源を切っている場合のデバイスの取り外しと取り付け

- ⚠ **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。
- 🔄 **注意:** デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

□□□ デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。



□□□ リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、D/Bay からデバイスを取り外します。




□□□ ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込んでから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスがコンピュータと揃うようにします。

□□□ D/Bay ケーブルをコンピュータの Dell D/Bay コネクタに接続します。



---


## コンピュータの電源が入っている場合のデバイスの取り外しと取り付け

 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

### Microsoft® Windows® XP

□□□ タスクバーにあるハードウェアの安全な取り外しアイコンをダブルクリックします。

□□□ 取り外すデバイスをクリックし、停止 をクリックします。

 **注意:** デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けていない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

□□□ デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。



□□□ リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、D/Bay からデバイスを取り外します。



□□□ ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が持てるまでデバイスを押してから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスがコンピュータと揃うようにします。

Windows XP は自動的に新しいデバイスを認識します。

□□□ 必要に応じて、パスワードを入力してドライブのロックを解除します。

## Windows 2000

□□□ タスクバーにある ハードウェアの取り外しまたは取り出し アイコンをダブルクリックします。

□□□ 取り外すデバイスをクリックして、停止 をクリックします。

□□□ デバイスリリースラッチを押してリリースラッチを解除します。





□□□ リリースラッチを持ってデバイスを引き出し、D/Bay からデバイスを取り外します。



□□□ ベイに新しいデバイスを挿入し、カチッという感触が持てるまでデバイスを押ししてから、デバイスリリースラッチを押し込み、デバイスがコンピュータと揃うようにします。

□□□ オペレーティングシステムが新しいデバイスを認識したら、閉じる をクリックします。

---

## CD または DVD トレイの使い方

➡ **注意:** ドライブのトレイを開閉するときは、トレイを押し下げないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。

➡ **注意:** CD または DVD を再生している場合、コンピュータを動かさないでください。

□□□ ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。

□□□ トレイを引き出します。

□□□ ディスクをラベルの付いている面を上にしてトレイの中央の置きます。

□□□ カチッと音がするまでディスクをスピンドルにしっかりとめ込みます。



1 取り出しボタン

□□□ トレイをドライブに押し戻します。

**メモ：** Latitude D シリーズ以外のコンピュータに付属しているモジュールベイをお使いの場合、DVD の再生やデータの書き込みに必要なドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。詳細については、『Drivers and Utilities CD』を参照してください。

お使いのコンピュータと一緒に DVD ドライブ、または CD-RW/DVD コンボドライブをご購入された場合、お使いのコンピュータで DVD が再生できます。お使いのコンピュータと一緒に CD-RW または CD-RW/DVD コンボドライブをご購入された場合、お使いのコンピュータで空の CD にデータを書き込むことができます。

CD または 映画の再生に関する詳細については、CD プレーヤーまたは DVD プレーヤーの ヘルプ (利用可能な場合) をクリックしてください。


## ボリュームの調整

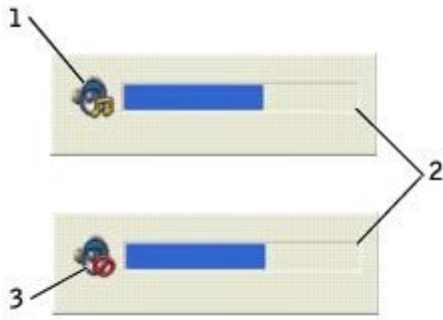
**メモ：** スピーカーが無音 (ミュート) に設定されていると、CD または DVD の音声を聞くことができません。

□□□ スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム® アクセサリ® エンターテイメント (または マルチメディア) とポイントして、ボリュームコントロール をクリックします。

□□□ ボリュームコントロール ウィンドウで、ボリュームコントロール の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールのオプションの詳細については、ボリュームコントロール ウィンドウの ヘルプ をクリックしてください。







音量メーター にミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクバーにある  アイコンを右クリックするかまたはボリュームコントロールボタンを押して、画面のボリュームメーターの有効 / 無効を切り替えます ([Dell QuickSet](#) がインストールされている場合)。




1	ボリュームアイコン
2	音量メーター
3	ミュートアイコン

**メモ：** デフォルトで、音量メーター は、画面の右下角に表示されます。メーターをクリックしたままドラッグして新しい場所に移動できます。それ以降、メーターは新しい場所に常に表示されます。

メーターが有効の場合、音量を調節するにはボリュームコントロールボタンを使用するか、または以下のキーを押します。

- ボリュームを上げるには   を押します。
- ボリュームを下げるには   を押します。
- ミュートにするには   を押します。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、ヘルプ をクリックしてください。

## 画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

### Windows XP

- スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 作業する分野を選びます で、デスクトップの表示とテーマ をクリックします。
- 作業を選びます で、画面解像度を変更する をクリックします。
- 画面のプロパティ ウィンドウで、画面の解像度 のバーをクリックアンドドラッグして設定を **1024 × 768** ピクセル に変更します。
- 画面の色 のドロップダウンメニューをクリックして、中 (**16** ビット) をクリックします。
- OK をクリックします。

### Windows 2000

- スタート ボタンをクリックし、設定 をポイントして、コントロールパネル をクリックします。

□□□ 画面 アイコンをダブルクリックして、設定 タブをクリックします。

□□□ 画面の領域 にあるつまみをクリックして、設定を **1024 × 768** ピクセル に変更します。


□□□ 色 のドロップダウンメニューをクリックして、**High Color (16 ビット)** をクリックします。

□□□ 適用 をクリックします。

□□□ **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。


# コンピュータをクリーニングする

- [コンピュータ、キーボード、ディスプレイ](#)
- [タッチパッド](#)
- [フロッピードライブ](#)
- [オプティカルメディア](#)


 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『システム情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

---

## コンピュータ、キーボード、ディスプレイ

 **警告:** コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータをコンセントから抜いて、取り付けられているバッテリーをすべて外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- 慎重に掃除機のブラシを使って、コンピュータのスロット部分や穴の開いている部分、およびキーとキーボードの間などのゴミを取り除きます。

 **注意:** コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。LCD 専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

- 水、または LCD 用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でディスプレイをきれいになるまで拭きます。
  - 水、または LCD 用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でコンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。
- 

## タッチパッド


□□□ コンピュータをシャットダウンして電源を切ります。次に、接続しているすべてのデバイスを取り外し、コンセントから抜きます。

□□□ [バッテリーを取り外します](#)。

□□□ 水で湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

---


## フロッピードライブ

 **注意:** ドライブヘッドを綿棒でクリーニングしないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

市販のクリーニングキットでフロッピードライブをクリーニングします。これらのキットには、通常の使用時にドライブヘッドに付いた汚れを落とすように前処理されたフロッピーディスクが入っています。

---

## オプティカルメディア

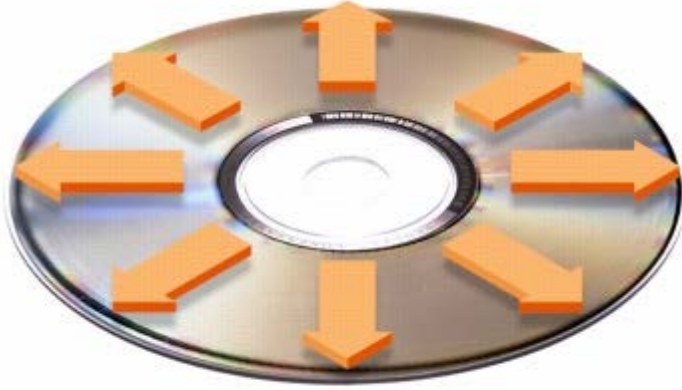
 **注意:** ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質の低下がみられる場合、ディスクを掃除してみます。

□□□ ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

👉 **注意:** 円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつける恐れがあります。

□□□ 糸くずのでない柔らかな布で、ディスクの裏面（ラベルのない面）をディスクの中側から外側に向けて丁寧にまっすぐ拭きます。



ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

□□□ コンピュータとデバイスを電源コンセントに接続し、電源を入れます。

# 仕様

- [マイクロプロセッサ](#)
- [システム情報](#)
- [PC カード](#)
- [スマートカード](#)
- [メモリ](#)
- [ポートとコネクタ](#)
- [通信](#)
- [ビデオ](#)
- [オーディオ](#)
- [ディスプレイ](#)
- [キーボード](#)
- [タッチパッド](#)
- [トラックスティック](#)
- [バッテリー](#)
- [AC アダプタ](#)
- [サイズと重量](#)
- [環境](#)

マイクロプロセッサ	
マイクロプロセッサの種類	Intel® Centrino™ モバイルテクノロジーまたは Intel Pentium® M
L1 キャッシュ	32 KB インストラクションキャッシュおよび 32 KB ライトバックデータキャッシュ
L2 キャッシュ	1 MB
外付けバスの周波数	400 MHz ソース同期プロセッサシステム

システム情報	
システムチップセット	Intel 855GM
フラッシュ EPROM	1 MB
データバス幅	64 ビット
マイクロプロセッサアドレスバス幅	32 ビット
PCI バス	32 ビット

PC カード	
CardBus コントローラ	TI PCI7510 カードバスコントローラ
PC カードコネクタ	Type I または Type II のカードを 1 枚サポート
サポートするカード	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅 (最大)	PCMCIA 16 ビット CardBus 32 ビット

スマートカード	
読み書き機能	すべての ISO 7816 1/2/3/4 マイクロプロセッサカードに読み書き (T=0、T=1)
サポートするカード	3 V および 5 V
プログラムテクノロジーサポート	Java カード
インタフェース速度	9600-115,200 BPS

EMV レベル	レベル 1 認定
WHQL 認定	PC/SC
互換性	PKI 環境で互換
取り付け / 取り出しのサイクル	100,000 サイクルまで認定

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な DDR SDRAM ソケット × 2
メモリモジュールの容量	128、256、512 および 1024 MB
メモリのタイプ	2.5 V 266 MHz DDR SDRAM
標準メモリ	128 MB
最大搭載メモリ	2048 MB

ポートおよびコネクタ	
シリアル	9 ピンコネクタ – 16550 C 互換、 16 バイトバッファコネクタ
ビデオ	15 ピンコネクタ (メス)
オーディオ	マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
USB	4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ (Dell™ D/Bay コネクタを含む) × 2
Dell™ D/Bay コネクタ	4 ピン電源ユニットおよび 4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ
赤外線ポート	IrDA Standard 1.1 (Fast IR) および IrDA Standard 1.0 (Slow IR) センサー
ミニ PCI	タイプ IIIA ミニ PCI カードスロット
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
IEEE 1394	4 ピン シリアルコネクタ

通信	
モデム：	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	内蔵 AC'97 バス
ネットワークアダプタ	システム基板上に 10/100/1000 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵の Mini PCI Wi-Fi および Bluetooth™ ワイヤレスサポート (オプション)

ビデオ	
ビデオタイプ	Intel UMA 内蔵



ビデオコントローラ	855GM チップセット
ビデオメモリ	1 MB の Intel DVMT で最高 32 MB (システムメモリが 128 MBの場合) または 64 MB (システムメモリが 256 MB 以上の場合)
LCD インタフェース	LVDS

オーディオ	
オーディオコントローラ	AC'97 (Soft Audio)
ステレオ変換	18ビット (デジタル変換、アナログ変換)
インタフェース:	
内蔵	AC'97
外部	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
スピーカー	8Ω スピーカー
内蔵スピーカーアンプ	1.2 Wチャンネル (8Ω)
ボリュームコントロール	ショートカットキー、プログラムメニュー

ディスプレイ	
タイプ (アクティブマトリクス TFT)	XGA
寸法	
縦幅	184.3 mm
横幅	245.8 mm
対角線	307.2 mm
最大解像度 / 表示色	1024 x 768 / 256 K (262,144) 色
応答時間 (標準)	立ち上がり: 20 ミリ秒 (最大)、 立ち下がり: 30 ミリ秒 (最大)
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0° (閉じた状態) ~ 180°
作動角度	
水平方向	±40°
垂直方向	+10°/-30°
ピクセルピッチ	0.28×0.28 mm
消費電力:	
バックライトのパネル (標準)	6.5 W
コントロール	輝度はショートカットキーによって調節可能

キーボード	
キー数	84 (アメリカ、カナダ)、85 (ヨーロッパ)、86 (ブラジル)、88 (日本)
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X / Y 位置解像度 (グラフィックテーブルモード)	240 cpi
寸法	
横幅	64.88 mm (センサー感知領域)
縦幅	48.88 mm の長方形

トラックスティック	
X / Y 位置解像度 (グラフィックテーブルモード)	250 カウント / 秒 @ 100 gf
サイズ	周囲のキーキャップより高い

バッテリー	
タイプ	6 セル、「スマート」リチウムイオン (42 WHr) 4 セル、「スマート」リチウムイオン (28 WHr)
寸法	
長さ	88.5 mm
縦幅	21.5 mm
横幅	139.0 mm
重量	0.32 kg (6 セル) 0.26 kg (4 セル)
電圧	11.1 VDC (6 セル) 14.8 VDC (4 セル)
充電時間 (概算) :	
電源が入っている場合	2.5 時間
電源が切れている場合	1 時間
動作時間	動作状況によって変わります。特定の電力を多く必要とする状況では、著しく短縮されます。  バッテリーの寿命の詳細に関しては、「 <a href="#">バッテリーの使い方</a> 」を参照してください。
寿命 (概算)	300 (完全充電 / 放電) サイクル
温度範囲	
動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C

AC アダプタ	
入力電圧	90 ~ 264 VAC
入力電流 (最大)	1.7 A
入力周波数	47 ~ 63 Hz
出力電流	5.5 A (4 秒パルスするとき最大) 4.5 A (継続)

出力電圧	65 W または 90 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法	
縦幅	26.6–31.9 mm
横幅	58.42 mm
長さ	133.85 mm
重量 (ケーブル含む)	0.4 kg
温度範囲	
動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C


サイズと重量	
縦幅	25.4 mm
横幅	294 mm
長さ	245 mm
重量 :	
コンピュータ (4 セルバッテリー搭載)	1.7 kg
Dell D/Bay (単体)	256 g
CD ドライブ (単体)	215 g

環境	
温度範囲	
動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C
相対湿度 (最大)	
動作時	10 ~ 90 % (結露しないこと)
保管時	5 ~ 95 % (結露しないこと)
最大振動 (ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時) :	
動作時	0.9 GRMS
保管時	1.3 GRMS
最大衝撃 (HDD のヘッド停止位置で 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定) :	
動作時	122 G
保管時	163 G
高度 (最大) :	
動作時	-15.2 m ~ 3,048 m
保管時	-15.2 m ~ 10,668 m

# Dell™ QuickSet 機能


- [QuickSet アイコンをクリックする](#)
- [QuickSet アイコンをダブルクリックする](#)
- [QuickSet アイコンを右クリックする](#)

---

Dell QuickSet を使用すると、電源の管理、バッテリーリソース、アイコンとフォントのサイズ、ディスプレイ輝度、音量、およびネットワークアクティビティの各設定に簡単にアクセスできます。QuickSet がコンピュータにインストールされている場合は、タスクバーにある  アイコンからアクセスします。QuickSet がインストールされていない場合は、[support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) からこのプログラムをダウンロードすることができます。アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックするかによって、QuickSet の機能が異なります。

---

## QuickSet アイコンをクリックする

 アイコンをクリックして、以下の機能を実行します。

- [電力の管理ウィザード](#)を使った電力管理設定の調整。
- アイコンとツールバーのサイズの調整。
- [電力の管理ウィザード](#)で設定した電源設定の選択。
- プレゼンテーションモードのオンまたはオフの切り替え。


---

## QuickSet アイコンをダブルクリックする


 アイコンをダブルクリックし、[電力の管理ウィザード](#)を使って電力管理設定を調整します。

---

## QuickSet アイコンを右クリックする

 アイコンを右クリックして、以下の機能を実行します。

- 画面上の[輝度メーター](#)の有効化または無効化。
- 画面上の[音量メーター](#)の有効化または無効化。
- [ワイヤレスアクティビティ](#)のオンまたはオフの切り替え。
- 『Dell QuickSet ヘルプ』の表示。
- お使いのコンピュータにインストールされている QuickSet プログラムのバージョンおよび著作権の日付の表示。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、ヘルプ をクリックしてください。